

紀宝町人権に関するアンケート
調査結果報告書

令和4年1月

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の方法.....	1
3	配布・回収数.....	1
4	報告書の見方(注意事項).....	1
II	調査結果	2
1	人権問題について.....	2
2	主な人権課題に関する意識について.....	18
3	人権課題の解決のための方策について.....	50
4	あなたご自身のことについて.....	54

I 調査の概要

1 調査の目的

本町では、平成 23(2011)年 3 月に「紀宝町人権基本方針」を策定し、すべての人の人権が尊重される明るく住みよい社会の実現に向け、人権施策の取り組みを推進してきました。「紀宝町人権基本方針」の策定から 10 年が経過することから、現在、基本方針の見直しを進めています。この調査は、町民のみなさまのご意見をお聴きし、基本方針の見直しにあたっての基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2 調査の方法

- ①調査対象地域 紀宝町全域
- ②調査対象者 紀宝町在住の 18 歳以上の方から 1,100 人を無作為抽出
- ③調査期間 令和 3 年 11 月 5 日～11 月 19 日
- ④調査方法 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3 配布・回収数

配布数	有効回収数	有効回収率
1,100 件	449 件	40.8%

4 報告書の見方(注意事項)

- ①グラフおよび表中の N 数(number of case)は、その設問での無回答を除いた有効回答数を表しています。
- ②調査結果(表中)の比率は、その設問の有効回答数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- ③複数回答形式(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の有効回答数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。
- ④選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- ⑤参考として代表的な設問に対しクロス集計分析を行っています。その際、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。また、性別クロス集計については「その他」の回答数が 1 件のため、問 12 以外では省略しています。
- ⑥本文中の「前回調査」とは「平成 29 年度調査」のことを言います。また、本文中の「内閣府調査」とは内閣府が平成 29 年 10 月に実施した「人権擁護に関する世論調査」のことを言います。

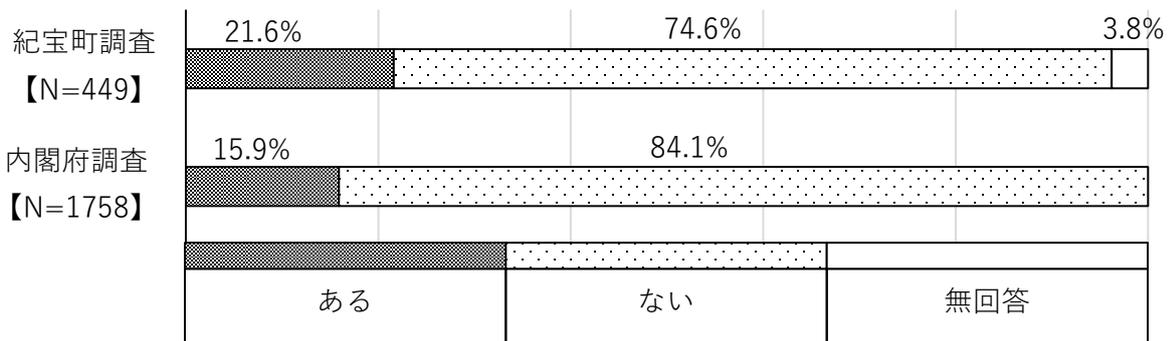
II 調査結果

1 人権問題について

問1 あなたは、この5～6年の間に、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか、それともそういうことはありませんか。

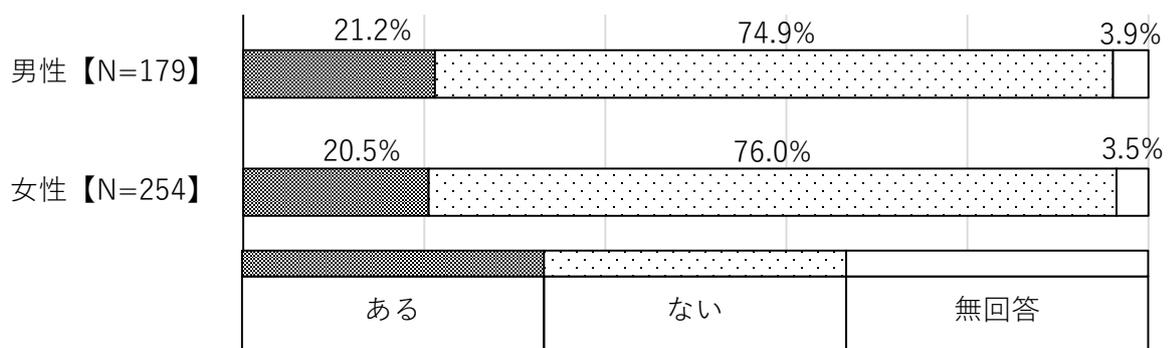
自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかについては、「ある」と答えた人の割合は21.6%、「ない」と答えた人の割合は74.6%となっています。

内閣府調査と比べると「ある」と答えた人の割合が5.7ポイント高くなっています。



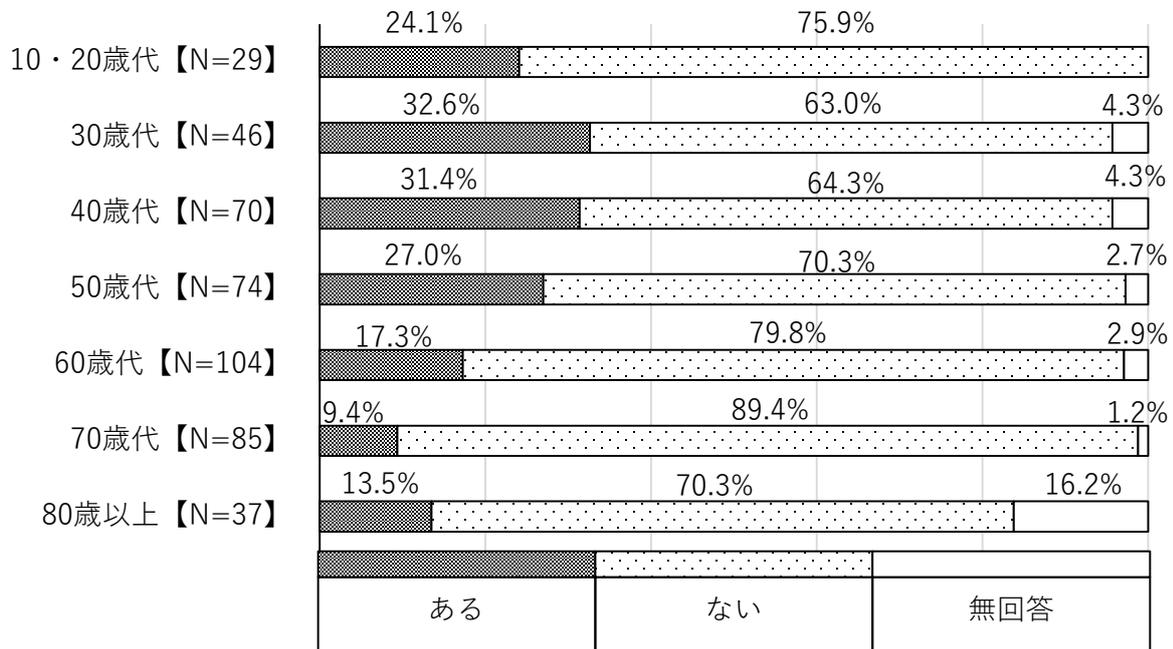
性別クロス

性別にみると、「ある」と答えた人の割合は男性で、「ない」と答えた人の割合は女性で、それぞれ高くなっています。



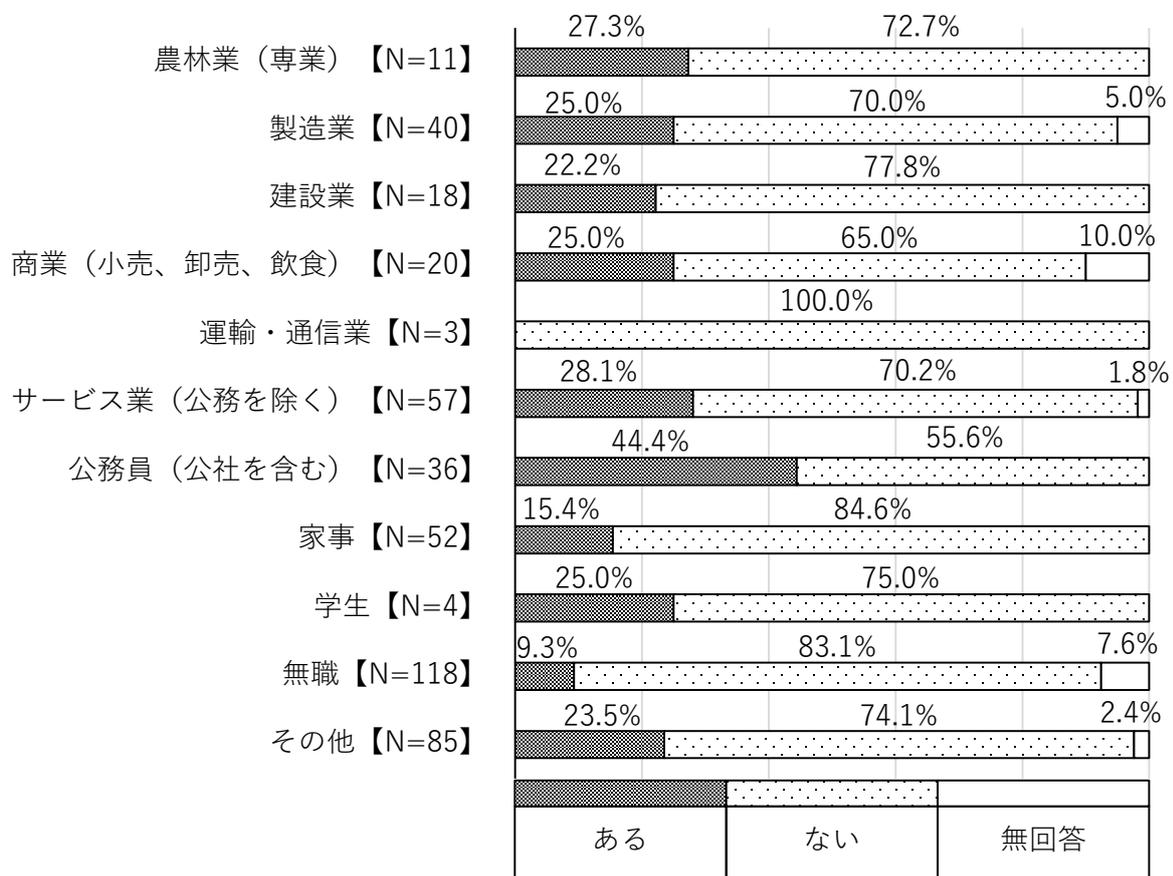
年代別クロス

年齢別にみると、「ない」と答えた人の割合は70歳代では89.4%と高くなっています。一方、「ある」と答えた人の割合は30歳代で32.6%、40歳代で31.4%と高くなっています。



職業別クロス

職業別にみると、「ない」と答えた人の割合は運輸・通信業では100%となっています。一方、「ある」と答えた人の割合は公務員では44.4%と、他の職業に比べて特に高くなっています。

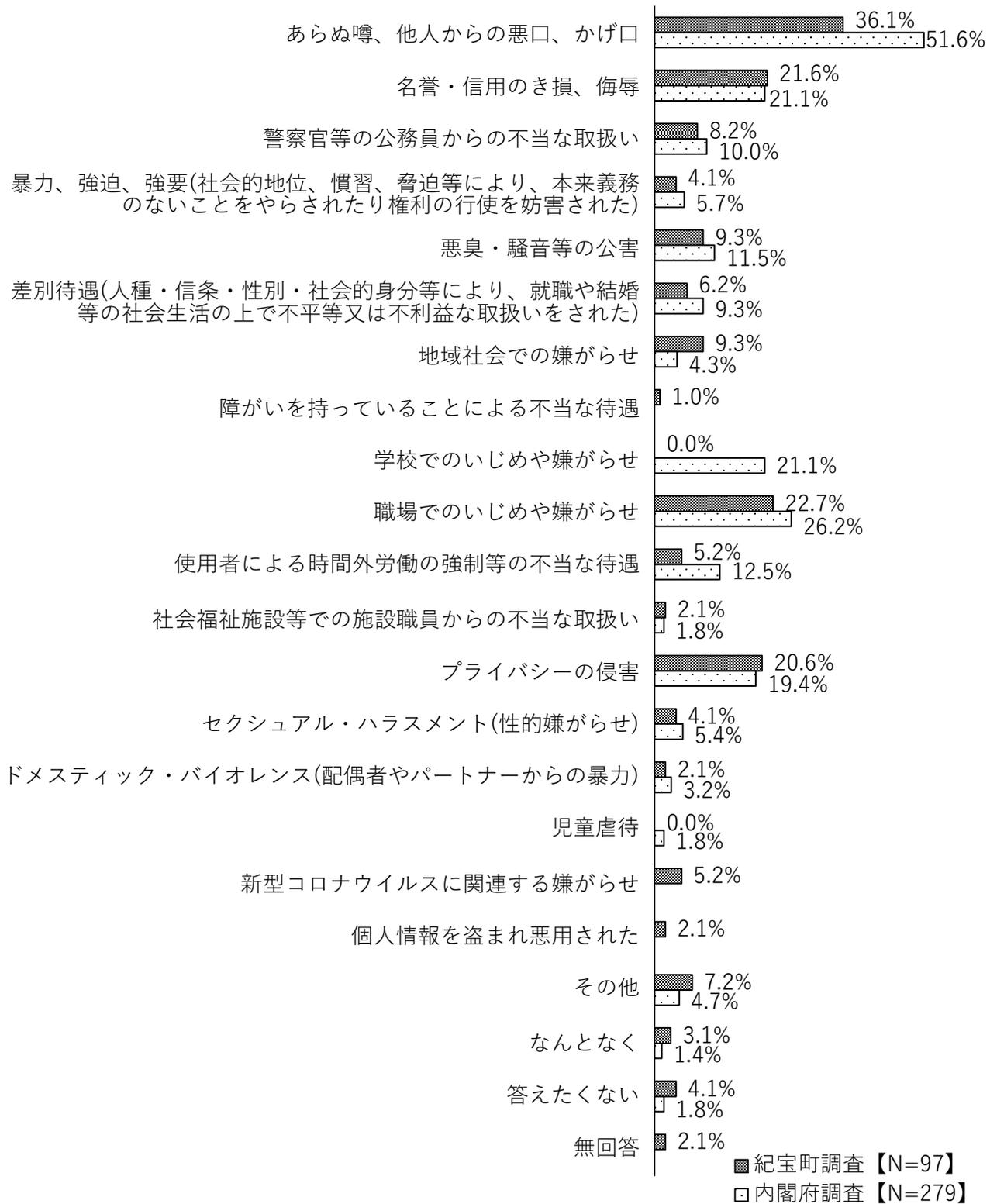


問1で「ある」と答えた方

問1-1 それは、どのような場合ですか。差し支えなければ以下の中からお選びください。

人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた人に、それは、どのような場合か聞いたところ、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」を挙げた人の割合が36.1%と最も高く、以下、「職場でのいじめや嫌がらせ」(22.7%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(21.6%)、「プライバシーの侵害」(21.1%)などの順となっています

内閣府調査と比べると「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」を挙げた人の割合は15.5ポイント低くなっています。



性別クロス

性別にみると、男性では「名誉・信用のき損、侮辱」を挙げた人の割合が28.9%と最も高く、女性では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」を挙げた人の割合が46.2%と最も高くなっています。また、「セクシュアル・ハラスメント」、「ドメスティック・バイオレンス」、「社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い」などを挙げた人の割合は女性で高くなっています。

	合計	男性	女性
全体	90	38	52
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	35.6	21.1	46.2
名誉・信用のき損、侮辱	22.2	28.9	17.3
警察官等の公務員からの不当な取扱い	8.9	13.2	5.8
暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり権利の行使を妨害された)	4.4	7.9	1.9
悪臭・騒音等の公害	8.9	13.2	5.8
差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)	6.7	2.6	9.6
地域社会での嫌がらせ	7.8	13.2	3.8
障がいを持っていることによる不当な待遇	1.1	2.6	-
学校でのいじめや嫌がらせ	-	-	-
職場でのいじめや嫌がらせ	24.4	26.3	23.1
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	5.6	10.5	1.9
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	2.2	-	3.8
プライバシーの侵害	21.1	15.8	25.0
セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	4.4	-	7.7
ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	2.2	-	3.8
児童虐待	-	-	-
新型コロナウイルスに関連する嫌がらせ	5.6	2.6	7.7
個人情報盗まれ悪用された	2.2	2.6	1.9
その他	6.7	7.9	5.8
なんとなく	3.3	5.3	1.9
答えたくない	4.4	-	7.7
無回答	1.1	2.6	-

年代別クロス

年代別にみると、10・20歳代、50歳代、70歳代では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」を挙げた人の割合が高く、特に70歳代では62.5%と高くなっています。また、40歳代では「プライバシーの侵害」を挙げた人の割合が、60歳代、80歳以上では「名誉・信用のき損、侮辱」を挙げた人の割合が、それぞれ高くなっています。30歳代では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と「プライバシーの侵害」を挙げた人の割合が同率で高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	95	7	15	22	20	18	8	5
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	35.8	42.9	40.0	27.3	40.0	22.2	62.5	40.0
名誉・信用のき損、侮辱	22.1	-	13.3	22.7	20.0	33.3	12.5	60.0
警察官等の公務員からの不当な取扱い	8.4	-	6.7	18.2	-	16.7	-	-
暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり権利の行使を妨害された)	4.2	-	6.7	-	5.0	11.1	-	-
悪臭・騒音等の公害	8.4	-	20.0	4.5	15.0	-	12.5	-
差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)	6.3	14.3	-	4.5	5.0	11.1	12.5	-
地域社会での嫌がらせ	8.4	14.3	-	4.5	5.0	16.7	-	40.0
障がいを持っていることによる不当な待遇	1.1	-	-	-	-	-	12.5	-
学校でのいじめや嫌がらせ	-	-	-	-	-	-	-	-
職場でのいじめや嫌がらせ	23.2	28.6	13.3	27.3	35.0	27.8	-	-
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	5.3	-	6.7	13.6	-	5.6	-	-
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	2.1	-	-	-	-	5.6	12.5	-
プライバシーの侵害	21.1	28.6	40.0	31.8	10.0	-	25.0	20.0
セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	4.2	28.6	-	-	5.0	5.6	-	-
ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	2.1	-	-	4.5	5.0	-	-	-
児童虐待	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルスに関連する嫌がらせ	5.3	-	13.3	4.5	10.0	-	-	-
個人情報盗まれ悪用された	2.1	-	-	4.5	5.0	-	-	-
その他	7.4	-	6.7	4.5	5.0	11.1	12.5	20.0
なんとなく	3.2	-	-	9.1	-	-	12.5	-
答えたくない	4.2	-	-	-	10.0	11.1	-	-
無回答	2.1	-	-	4.5	-	-	-	20.0

職業別クロス

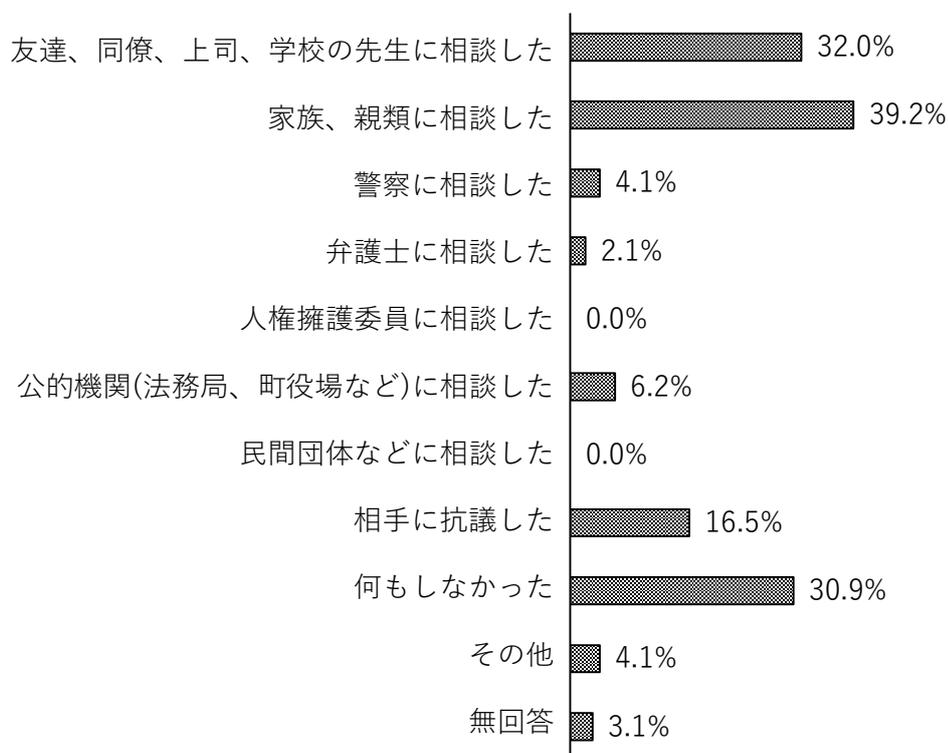
職業別にみると、製造業では「職場でのいじめや嫌がらせ」を挙げた人の割合が、建設業、家事、学生、その他では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」を挙げた人の割合が、それぞれ高くなっています。また、サービス業では「プライバシーの侵害」を挙げた人の割合が、無職では「名誉・信用のき損、侮辱」を挙げた人の割合が、それぞれ高くなっています。農林業では「悪臭・騒音等の公害」と「その他」を挙げた人の割合が、公務員では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と「名誉・信用のき損、侮辱」を挙げた人の割合が、それぞれ同率で高くなっています。商業では回答が分散しています。

	合計	農林業 (専業)	製造業	建設業	商業(小 売、卸 売、飲 食)	運輸・ 通信業	サービ ス業(公 務を除 く)	公務員 (公社を 含む)	家事	学生	無職	その他
全体	94	3	10	4	5	-	16	16	8	1	11	20
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	36.2	-	20.0	50.0	-	-	18.8	43.8	62.5	100.0	27.3	55.0
名誉・信用のき損、侮辱	21.3	-	-	25.0	20.0	-	-	43.8	12.5	-	54.5	20.0
警察官等の公務員からの不当な取扱い	8.5	-	-	-	-	-	6.3	6.3	12.5	-	18.2	15.0
暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来義務のないことをやらされたり権利の行使を妨害された)	4.3	-	10.0	25.0	-	-	-	6.3	12.5	-	-	-
悪臭・騒音等の公害	9.6	33.3	10.0	-	20.0	-	6.3	6.3	-	-	9.1	15.0
差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な取扱いをされた)	5.3	-	-	25.0	20.0	-	6.3	-	12.5	-	-	5.0
地域社会での嫌がらせ	9.6	-	-	-	20.0	-	6.3	12.5	12.5	-	27.3	5.0
障がいを持っていることによる不当な待遇	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-
学校でのいじめや嫌がらせ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職場でのいじめや嫌がらせ	22.3	-	60.0	-	-	-	18.8	31.3	-	-	9.1	30.0
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	5.3	-	20.0	-	-	-	12.5	6.3	-	-	-	-
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	1.1	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-
プライバシーの侵害	21.3	-	10.0	25.0	20.0	-	31.3	31.3	12.5	-	18.2	20.0
セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	4.3	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	-	9.1	5.0
ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)	2.1	-	-	-	-	-	6.3	-	12.5	-	-	-
児童虐待	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルスに関連する嫌がらせ	5.3	-	-	25.0	20.0	-	6.3	-	-	-	-	10.0
個人情報盗まれ悪用された	2.1	-	-	-	-	-	-	6.3	12.5	-	-	-
その他	7.4	33.3	-	-	-	-	12.5	6.3	12.5	-	-	10.0
なんとなく	3.2	-	10.0	-	-	-	6.3	-	-	-	9.1	-
答えたくない	4.3	-	-	-	20.0	-	6.3	-	12.5	-	-	5.0
無回答	2.1	33.3	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-

問1-2 ご自分の人権が侵害されたと思ったとき、あなたはどのようにしましたか。

【N=97】

自分の人権が侵害されたと思ったときにどうしたかを聞いたところ、「家族、親類に相談した」と答えた人の割合が39.2%と最も高く、以下、「友達、同僚、上司、学校の先生に相談した」(32.0%)、「何もしなかった」(30.9%)、「相手に抗議した」(16.5%)などの順となっています。



性別クロス

性別にみると、「何もしなかった」、「弁護士に相談した」と答えた人の割合は男性で高く、「家族、親類に相談した」、「友達、同僚、上司、学校の先生に相談した」と答えた人の割合は女性で高くなっています。

	合計	男性	女性
全体	90	38	52
友達、同僚、上司、学校の先生に相談した	33.3	21.1	42.3
家族、親類に相談した	41.1	31.6	48.1
警察に相談した	4.4	2.6	5.8
弁護士に相談した	2.2	5.3	-
人権擁護委員に相談した	-	-	-
公的機関(法務局、町役場など)に相談した	5.6	5.3	5.8
民間団体などに相談した	-	-	-
相手に抗議した	16.7	15.8	17.3
何もしなかった	31.1	39.5	25.0
その他	4.4	5.3	3.8
無回答	2.2	-	3.8

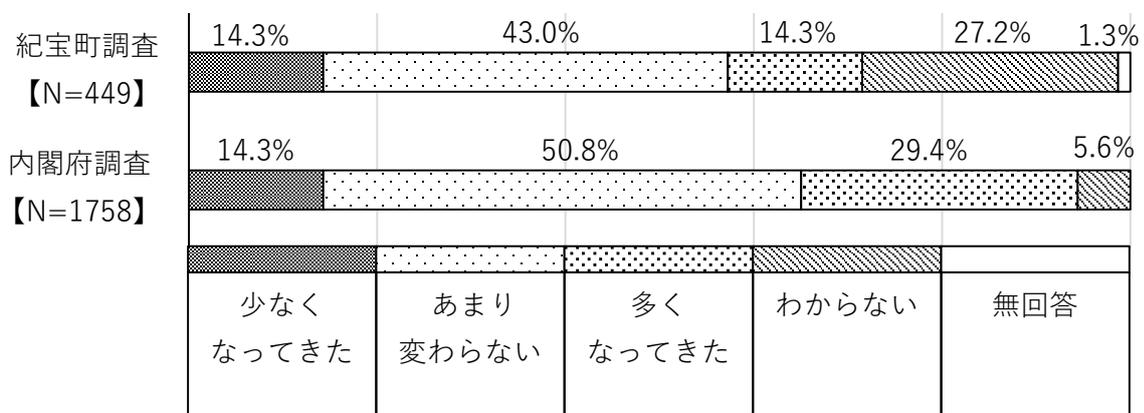
年代別クロス

年代別にみると、10・20歳代では「友達、同僚、上司、学校の先生に相談した」と「家族、親類に相談した」と答えた人の割合が同率で高くなっています。30歳代、60歳代では「何もしなかった」と答えた人の割合が、40歳代から50歳代、70歳代では「家族、親類に相談した」と答えた人の割合が、それぞれ高くなっています。「80歳以上」では回答が分散しています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	95	7	15	22	20	18	8	5
友達、同僚、上司、学校の先生に相談した	32.6	57.1	20.0	36.4	35.0	33.3	25.0	20.0
家族、親類に相談した	40.0	57.1	26.7	63.6	45.0	11.1	62.5	-
警察に相談した	4.2	-	-	4.5	10.0	5.6	-	-
弁護士に相談した	2.1	-	-	9.1	-	-	-	-
人権擁護委員に相談した	-	-	-	-	-	-	-	-
公的機関(法務局、町役場など)に相談した	6.3	14.3	6.7	9.1	-	-	12.5	20.0
民間団体などに相談した	-	-	-	-	-	-	-	-
相手に抗議した	16.8	-	6.7	18.2	20.0	33.3	-	20.0
何もしなかった	29.5	42.9	33.3	13.6	20.0	55.6	25.0	20.0
その他	4.2	14.3	6.7	-	5.0	5.6	-	-
無回答	3.2	-	6.7	-	-	-	12.5	20.0

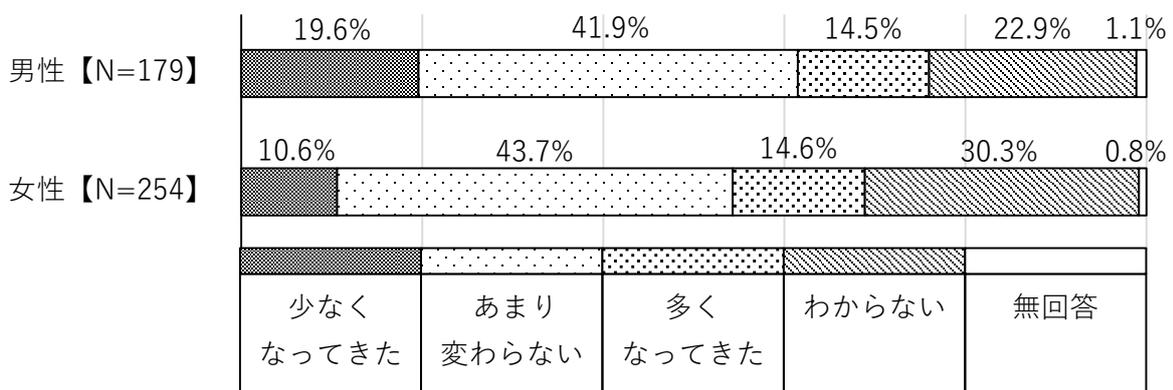
問2 新聞、テレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、身の回りで人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。

この5～6年の間に、身の回りで人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思うか、あまり変わらないと思うか、それとも次第に多くなってきたと思うか聞いたところ、「あまり変わらない」と答えた人の割合が43.0%と最も高く、「わからない」と答えた人の割合は27.2%、「少なくなってきた」と「多くなってきた」と答えた人の割合は同率で14.3%となっています。内閣府調査と比べると「多くなってきた」と答えた人の割合は15.1ポイント低くなっています。



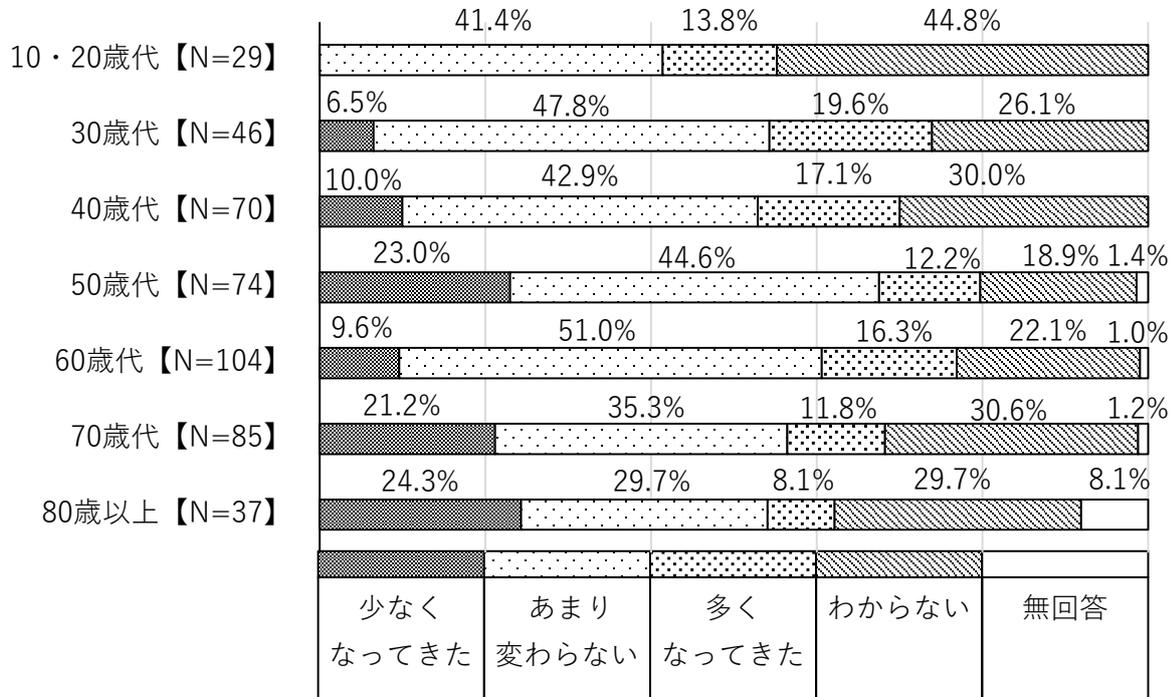
性別クロス

性別にみると、男性では「少なくなってきた」と答えた人の割合が女性より9ポイント高くなっています。



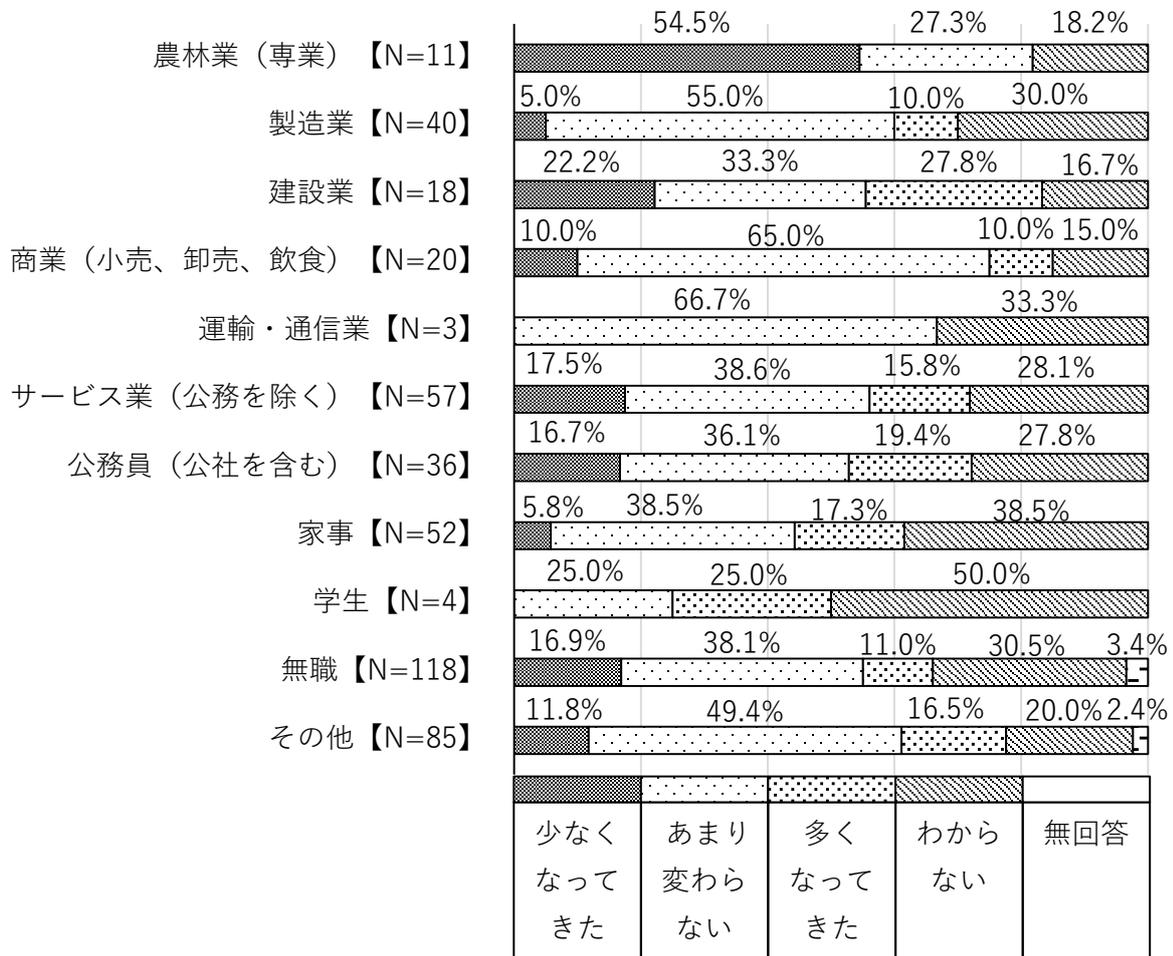
年代別クロス

年齢別にみると、「あまり変わらない」と答えた人の割合は60歳代で、「多くなってきた」と答えた人の割合は30歳代で、「少なくなってきた」と答えた人の割合は50歳代で、それぞれ高くなっています。



職業別クロス

職業別にみると、「あまり変わらない」と答えた人の割合は運輸・通信業で、「多くなってきた」と答えた人の割合は建設業で、「少なくなってきた」と答えた人の割合は農林業で、それぞれ高くなっています。

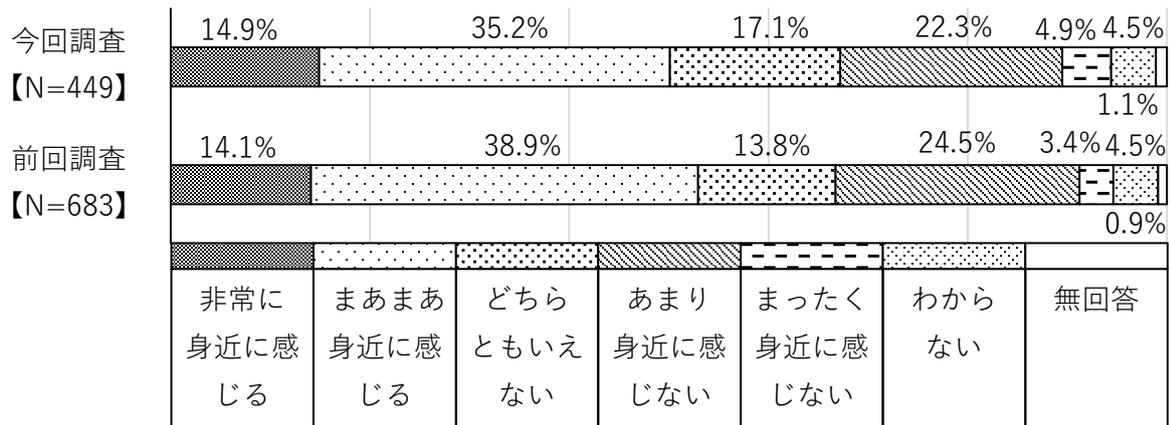


問3 あなたは、「人権」を身近な問題として感じていますか。

「人権」を身近な問題として感じているか聞いたところ、「まあまあ身近に感じる」と答えた人の割合が35.2%と最も高く、「あまり身近に感じない」と答えた人の割合は22.3%、「どちらともいえない」と答えた人の割合は17.1%となっています。

「非常に身近に感じる」(14.9%)と「まあまあ身近に感じる」(35.2%)を合わせた『身近に感じる』と答えた人の割合は50.1%となっています。

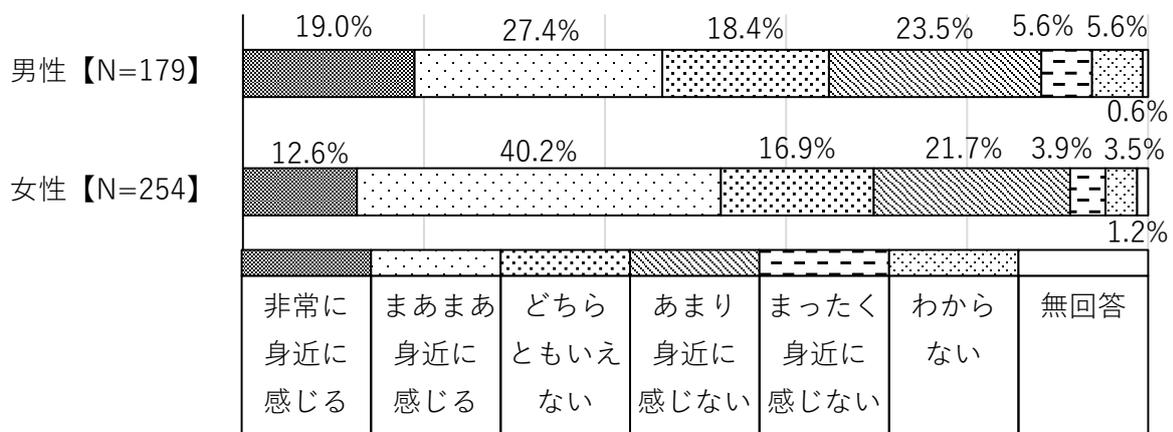
前回調査と比べると『身近に感じる』と答えた人の割合は2.9ポイント低くなっています。



性別クロス

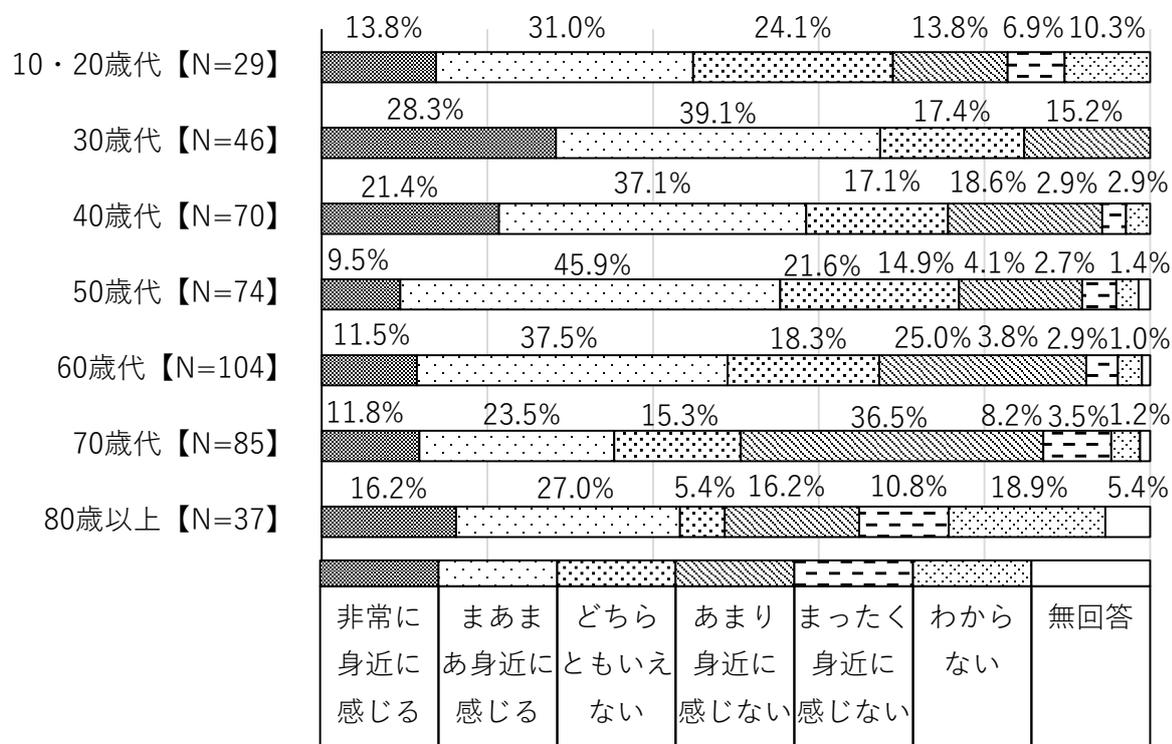
性別にみると、男性では「非常に身近に感じる」と答えた人の割合が19.0%と高く、女性では「まあまあ身近に感じる」と答えた人の割合が40.2%と高くなっています。

『身近に感じる』と答えた人の割合は女性(52.8%)が男性(46.4%)を6.4ポイント上回っています。



年代別クロス

年代別にみると、『身近に感じる』と答えた人の割合は30歳代では67.4%と高く、40歳代、50歳代でもそれぞれ58.5%、55.4%と高くなっています。

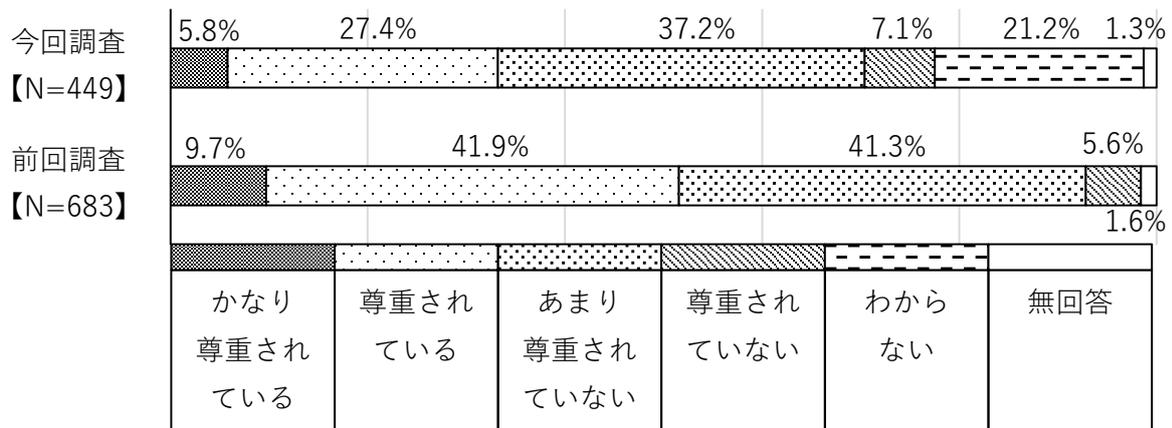


問4 現状の社会は、いろいろな立場の人々(女性、障がい者、高齢者、外国人など)の人権が尊重されていると思いますか。

いろいろな立場の人々の人権が尊重されていると思うか聞いたところ、「あまり尊重されていない」と答えた人の割合が37.2%と最も高く、「尊重されている」と答えた人の割合は27.4%、「わからない」と答えた人の割合は21.2%となっています。

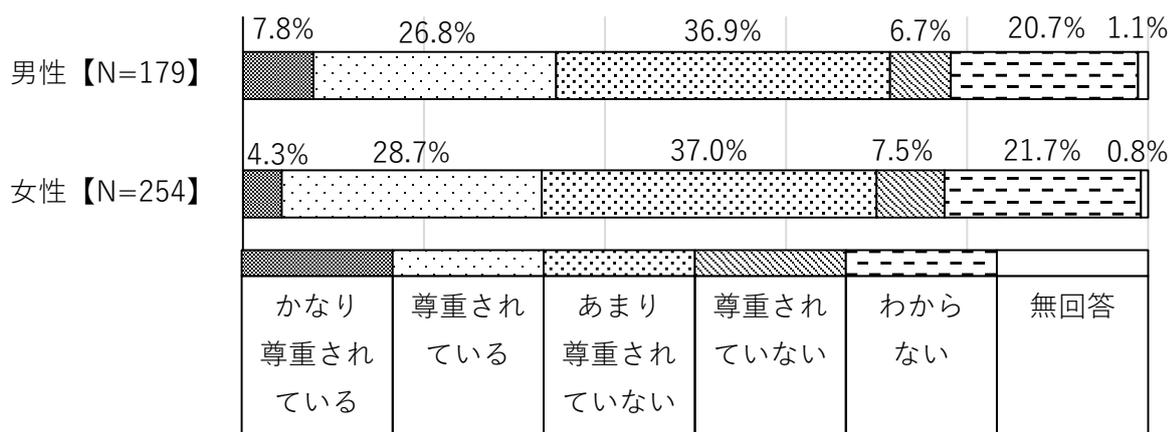
「かなり尊重されている」(5.8%)と「尊重されている」(27.4%)を合わせた『尊重されている』と答えた人の割合は33.2%となっています。

前回調査と比べると『尊重されている』と答えた人の割合は18.4ポイント低くなっています。



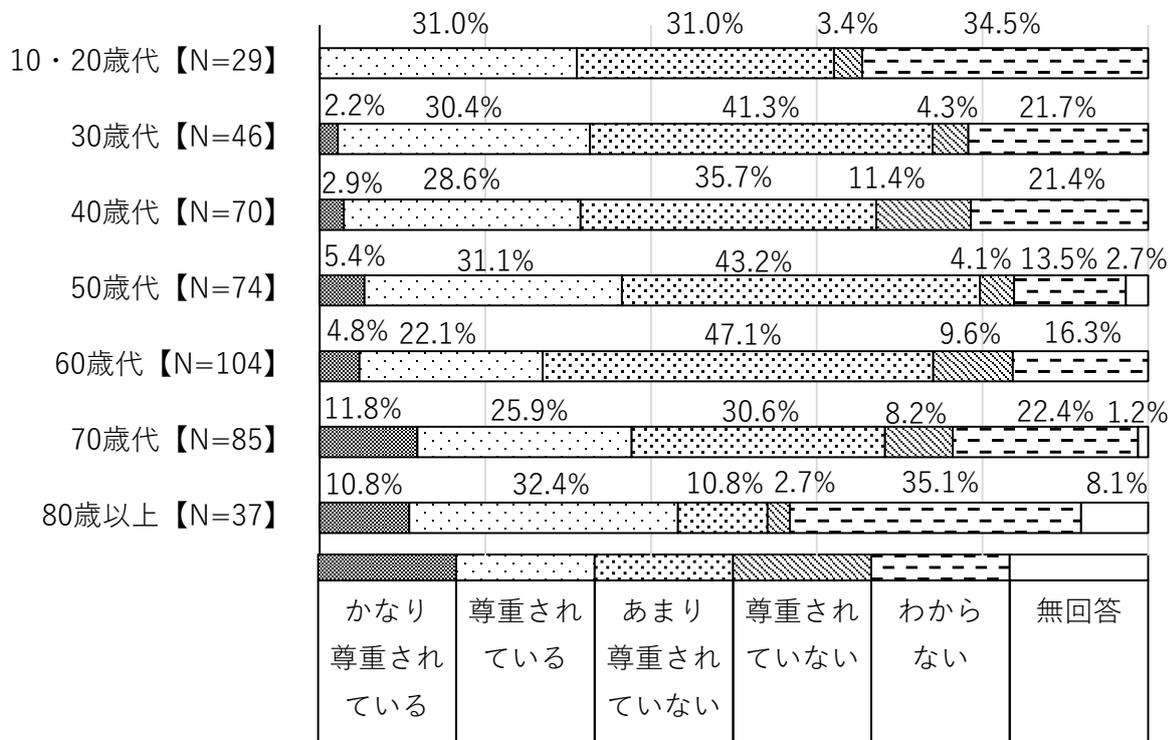
性別クロス

性別にみると、『尊重されている』と答えた人の割合は男性が女性を1.6ポイント上回っていますが、大きな差異はみられません。



年代別クロス

年代別にみると、『尊重されている』と答えた人の割合は80歳以上では43.2%と高くなっています。

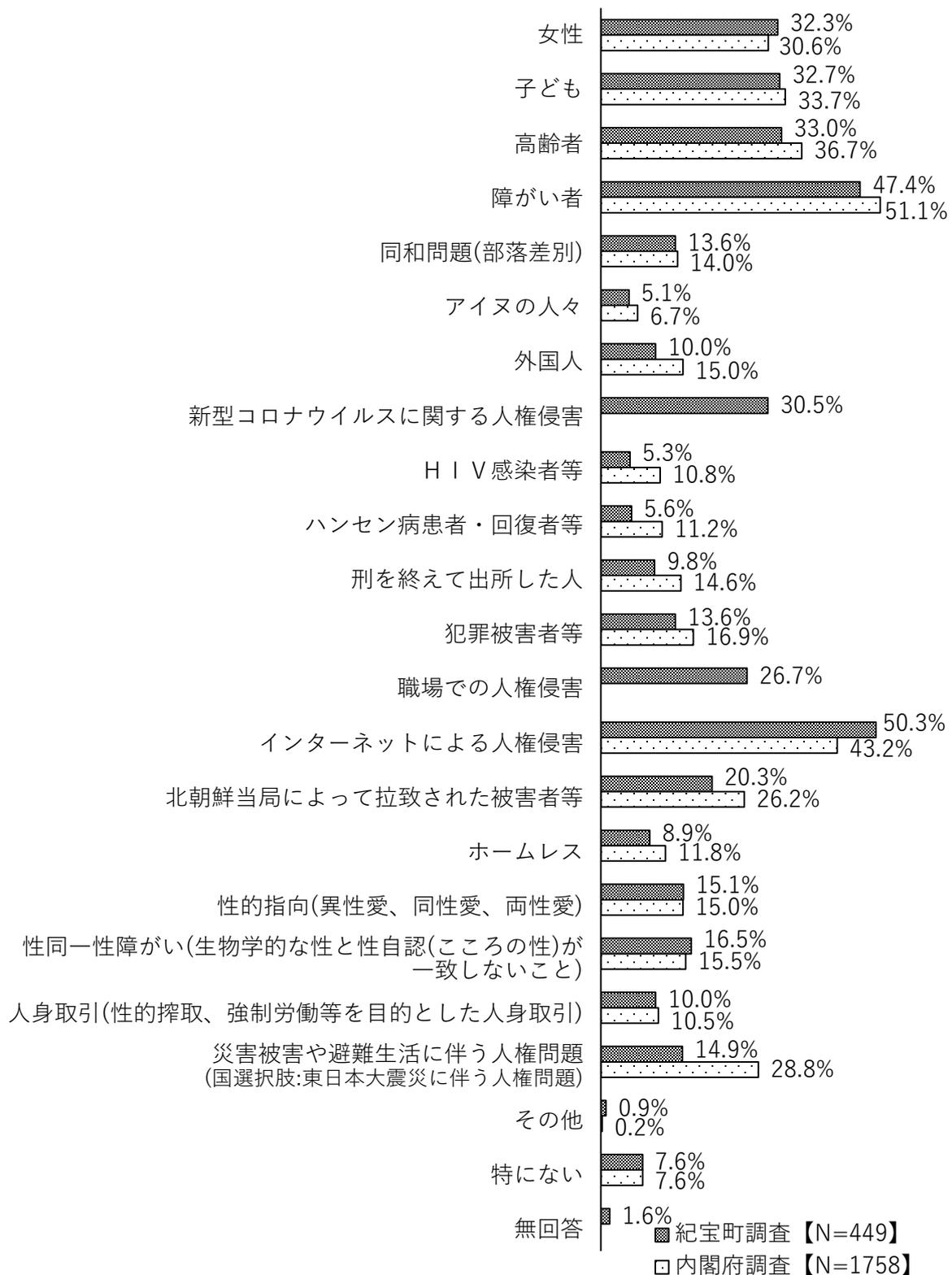


2 主な人権課題に関する意識について

問5 主な人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。

主な人権課題について、関心があるものはどれか聞いたところ、「インターネットによる人権侵害」を挙げた人の割合が50.3%と最も高く、以下、「障がい者」(47.4%)、「高齢者」(33.0%)、「子ども」(32.7%)、「女性」(32.3%)、「新型コロナウイルスに関する人権侵害」(30.5%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は7.6%となっています。

内閣府調査と比べると「インターネットによる人権侵害」を挙げた人の割合は7.1ポイント上回っています。



性別クロス

性別にみると、「女性」、「子ども」、「高齢者」、「新型コロナウイルスに関する人権侵害」、「ハンセン病患者・回復者等」、「性的指向」、「性同一性障がい」を挙げた人の割合は女性で高くなっています。

	合計	男性	女性
全体	434	179	254
女性	32.7	26.8	37.0
子ども	33.6	31.3	35.4
高齢者	32.9	30.2	35.0
障がい者	47.9	52.0	45.3
同和問題(部落差別)	14.1	17.3	11.8
アイヌの人々	5.3	5.6	5.1
外国人	10.1	12.3	8.7
新型コロナウイルスに関する人権侵害	30.4	29.1	31.1
HIV感染者等	5.3	5.0	5.5
ハンセン病患者・回復者等	5.8	4.5	6.7
刑を終えて出所した人	9.9	11.2	9.1
犯罪被害者等	14.1	15.1	13.4
職場での人権侵害	27.4	30.2	25.6
インターネットによる人権侵害	50.7	53.1	49.2
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	20.3	25.7	16.5
ホームレス	9.2	10.6	8.3
性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)	15.2	13.4	16.1
性同一性障がい(生物学的な性と性自認(こころの性)が一致しないこと)	16.4	12.8	18.5
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	10.4	12.3	9.1
災害被害や避難生活に伴う人権問題	15.2	17.3	13.8
その他	0.9	1.7	0.4
特になし	7.6	6.1	8.7
無回答	1.2	1.1	1.2

年代別クロス

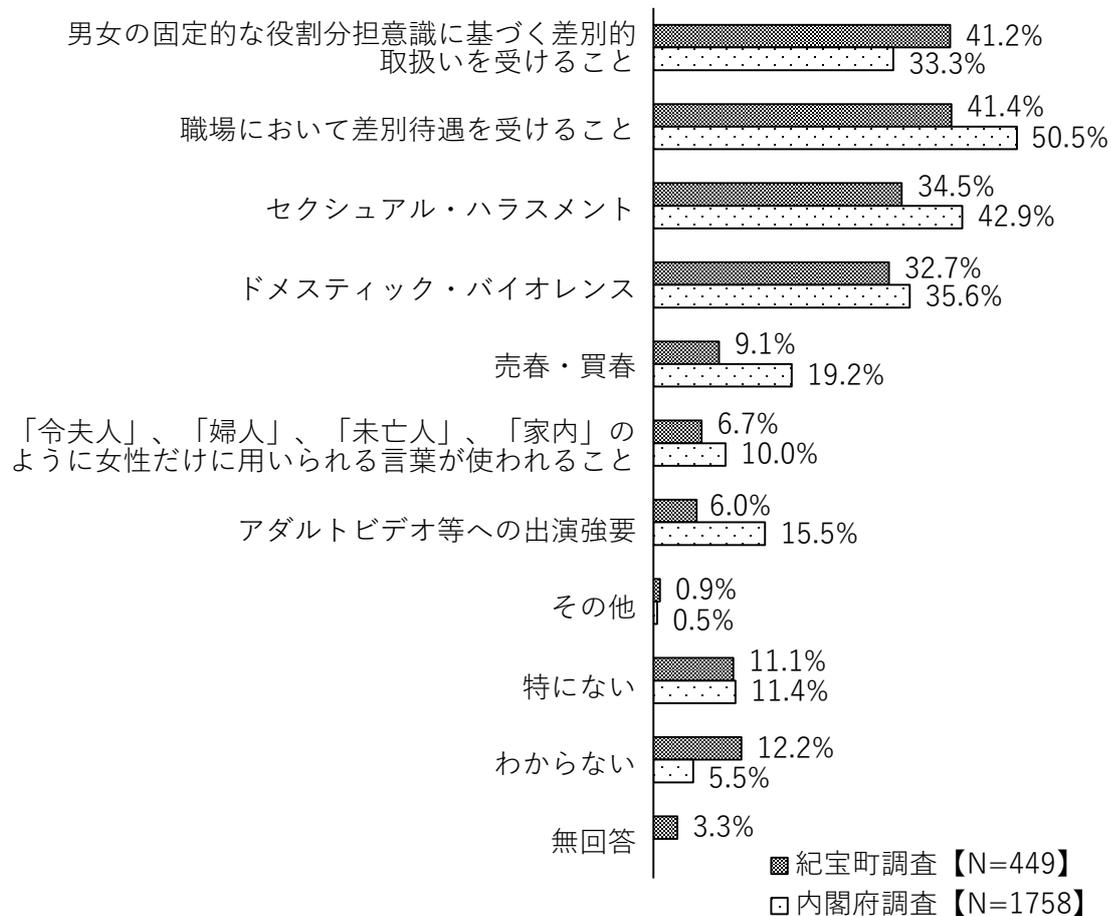
年齢別にみると、「障がい者」を挙げた人の割合は60歳代から70歳代で、「インターネットによる人権侵害」を挙げた人の割合は30歳代から50歳代で、それぞれ高くなっています。また、「障がい者」と「新型コロナウイルスに関する人権侵害」を挙げた人の割合は10・20歳代で、「高齢者」と「障がい者」を挙げた人の割合は80歳以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
女性	32.1	24.1	47.8	44.3	37.8	35.6	17.6	8.1
子ども	32.8	20.7	45.7	42.9	32.4	29.8	24.7	35.1
高齢者	33.0	10.3	26.1	34.3	28.4	41.3	34.1	40.5
障がい者	47.4	51.7	52.2	44.3	37.8	58.7	43.5	40.5
同和問題(部落差別)	13.7	13.8	17.4	14.3	23.0	13.5	5.9	8.1
アイヌの人々	5.2	3.4	6.5	8.6	6.8	3.8	4.7	-
外国人	9.9	10.3	21.7	11.4	9.5	10.6	5.9	-
新型コロナウイルスに関する人権侵害	30.6	51.7	34.8	38.6	45.9	24.0	18.8	8.1
HIV感染者等	5.2	3.4	6.5	7.1	8.1	5.8	2.4	-
ハンセン病患者・回復者等	5.6	3.4	10.9	2.9	9.5	3.8	5.9	2.7
刑を終えて出所した人	9.9	6.9	17.4	11.4	10.8	8.7	8.2	5.4
犯罪被害者等	13.7	13.8	21.7	15.7	17.6	10.6	10.6	8.1
職場での人権侵害	26.7	27.6	37.0	28.6	33.8	31.7	15.3	8.1
インターネットによる人権侵害	50.3	48.3	71.7	54.3	63.5	52.9	38.8	10.8
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	20.4	-	8.7	14.3	20.3	28.8	28.2	21.6
ホームレス	9.0	3.4	10.9	12.9	8.1	7.7	10.6	5.4
性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)	15.3	34.5	26.1	24.3	16.2	8.7	8.2	2.7
性同一性障がい(生物学的な性と性自認(こころの性)が一致しないこと)	16.4	41.4	26.1	24.3	18.9	10.6	8.2	-
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	10.1	13.8	17.4	5.7	10.8	9.6	10.6	5.4
災害被害や避難生活に伴う人権問題	14.8	6.9	19.6	12.9	23.0	17.3	11.8	2.7
その他	0.9	-	4.3	-	1.4	1.0	-	-
特になし	7.6	10.3	4.3	4.3	5.4	6.7	9.4	18.9
無回答	1.1	-	-	-	2.7	-	1.2	5.4

問6 あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「職場において差別待遇を受けること」を挙げた人の割合が41.4%と最も高く、僅差で「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」を挙げた人の割合が41.2%が続いています。以下、「セクシュアル・ハラスメント」(34.5%)、「ドメスティック・バイオレンス」(32.7%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は11.1%、「わからない」と答えた人の割合は12.2%となっています。

内閣府調査と比べると「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」を挙げた人の割合は7.9ポイント高くなっています。



性別クロス

性別にみると、「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」、「売春・買春」、「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること」を挙げた人の割合は女性で、「職場において差別待遇を受けること」、「セクシュアル・ハラスメント」、「アダルトビデオ等への出演強要」を挙げた人の割合は男性で、それぞれ高くなっています。

	合計	男性	女性
全体	434	179	254
男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること	41.7	33.5	47.2
職場において差別待遇を受けること	41.7	43.6	40.2
セクシュアル・ハラスメント	35.0	39.7	31.5
ドメスティック・バイオレンス	32.5	32.4	32.3
売春・買春	9.0	8.4	9.4
「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	6.2	5.0	7.1
アダルトビデオ等への出演強要	6.2	7.8	4.7
その他	0.9	1.1	0.8
特になし	11.5	12.8	10.6
わからない	12.2	12.3	12.2
無回答	3.0	1.7	3.9

年代別クロス

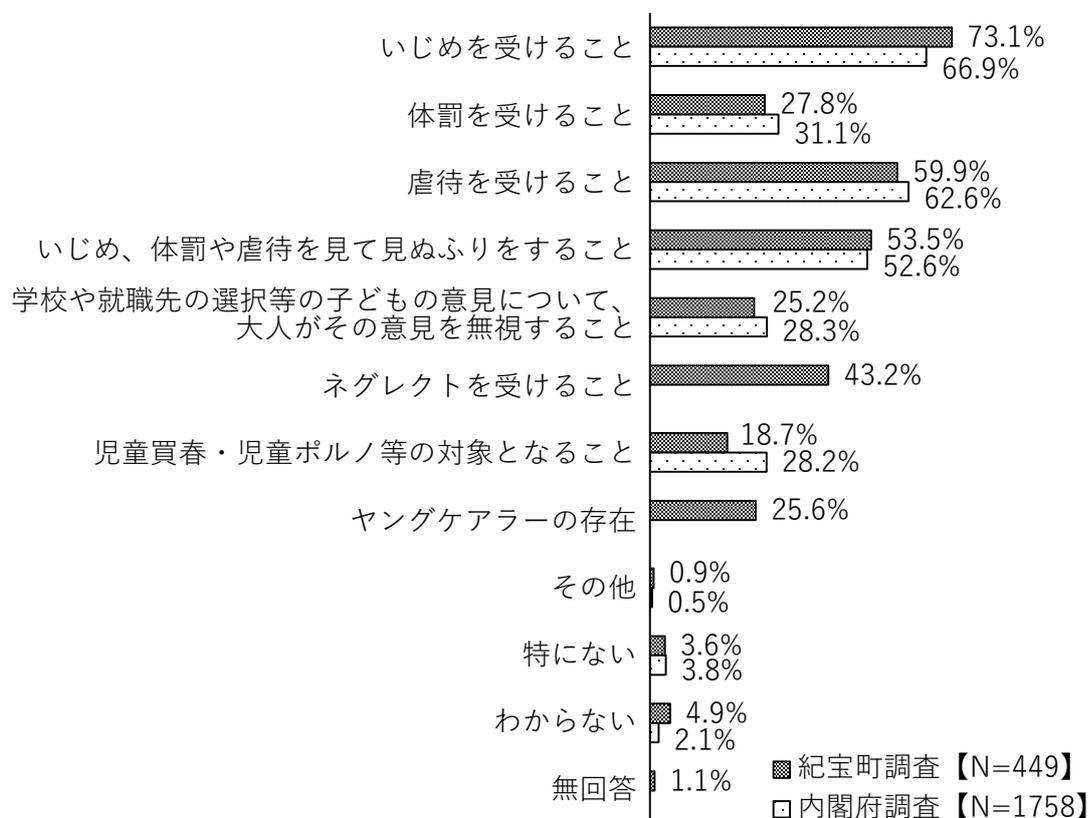
年代別にみると、「職場において差別待遇を受けること」を挙げた人の割合は10・20歳代、60歳代で、「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」を挙げた人の割合は30歳代から50歳代で、「ドメスティック・バイオレンス」を挙げた人の割合は70歳代で、「わからない」を挙げた人の割合は80歳以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること	40.9	58.6	67.4	41.4	47.3	41.3	24.7	16.2
職場において差別待遇を受けること	41.3	62.1	60.9	37.1	41.9	51.0	28.2	10.8
セクシュアル・ハラスメント	34.4	48.3	58.7	24.3	45.9	34.6	25.9	8.1
ドメスティック・バイオレンス	32.6	31.0	37.0	31.4	41.9	36.5	31.8	2.7
売春・買春	9.0	6.9	15.2	11.4	8.1	11.5	4.7	2.7
「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	6.5	3.4	10.9	2.9	10.8	7.7	4.7	2.7
アダルトビデオ等への出演強要	6.1	6.9	13.0	4.3	6.8	9.6	1.2	-
その他	0.9	-	-	1.4	1.4	1.0	1.2	-
特になし	11.0	3.4	10.9	12.9	4.1	10.6	16.5	16.2
わからない	12.4	10.3	2.2	15.7	9.5	7.7	10.6	43.2
無回答	3.4	-	-	-	4.1	1.0	8.2	10.8

問7 あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「いじめを受けること」を挙げた人の割合が73.1%と最も高く、以下、「虐待を受けること」(59.9%)、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」(53.5%)、「ネグレクトを受けること」(43.2%)などの順となっています。

内閣府調査と比べると「いじめを受けること」を挙げた人の割合は6.2ポイント上回っています。



年代別クロス

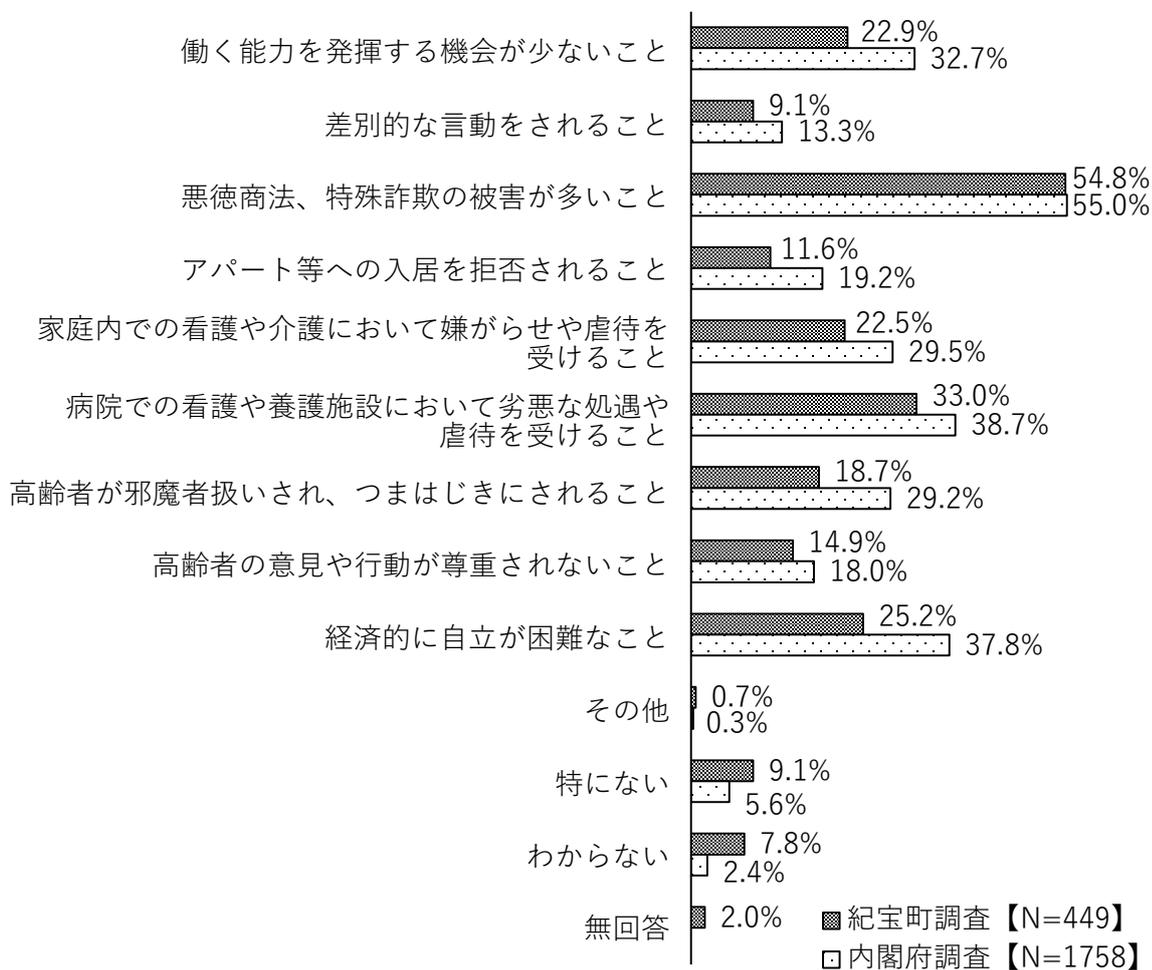
年代別にみると、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」を挙げた人の割合は10・20歳代で、「いじめを受ける事」を挙げた人の割合は30歳代以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
いじめを受けること	73.0	69.0	84.8	77.1	67.6	81.7	67.1	54.1
体罰を受けること	27.4	27.6	32.6	24.3	24.3	32.7	24.7	24.3
虐待を受けること	59.6	65.5	76.1	54.3	64.9	62.5	51.8	43.2
いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事	53.5	75.9	58.7	55.7	50.0	53.8	54.1	29.7
学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人がその意見を無視すること	24.9	48.3	45.7	24.3	18.9	25.0	17.6	10.8
ネグレクトを受けること	42.9	44.8	65.2	57.1	52.7	38.5	27.1	16.2
児童買春・児童ポルノ等の対象となること	18.9	13.8	28.3	15.7	21.6	23.1	16.5	5.4
ヤングケアラーの存在	25.4	17.2	39.1	31.4	31.1	26.0	17.6	8.1
その他	0.9	-	-	1.4	1.4	1.9	-	-
特になし	3.6	6.9	2.2	-	2.7	1.9	7.1	8.1
わからない	4.9	3.4	2.2	5.7	2.7	3.8	5.9	13.5
無回答	1.1	-	-	-	1.4	-	1.2	8.1

問8 あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」を挙げた人の割合が54.8%と最も高く、以下、「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」(33.0%)、「経済的に自立が困難なこと」(25.2%)、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」(22.9%)、「家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること」(22.5%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は9.1%、「わからない」と答えた人の割合は7.8%となっています。

内閣府調査と比べると「経済的に自立が困難なこと」を挙げた人の割合は12.6ポイント低くなっています。



年代別クロス

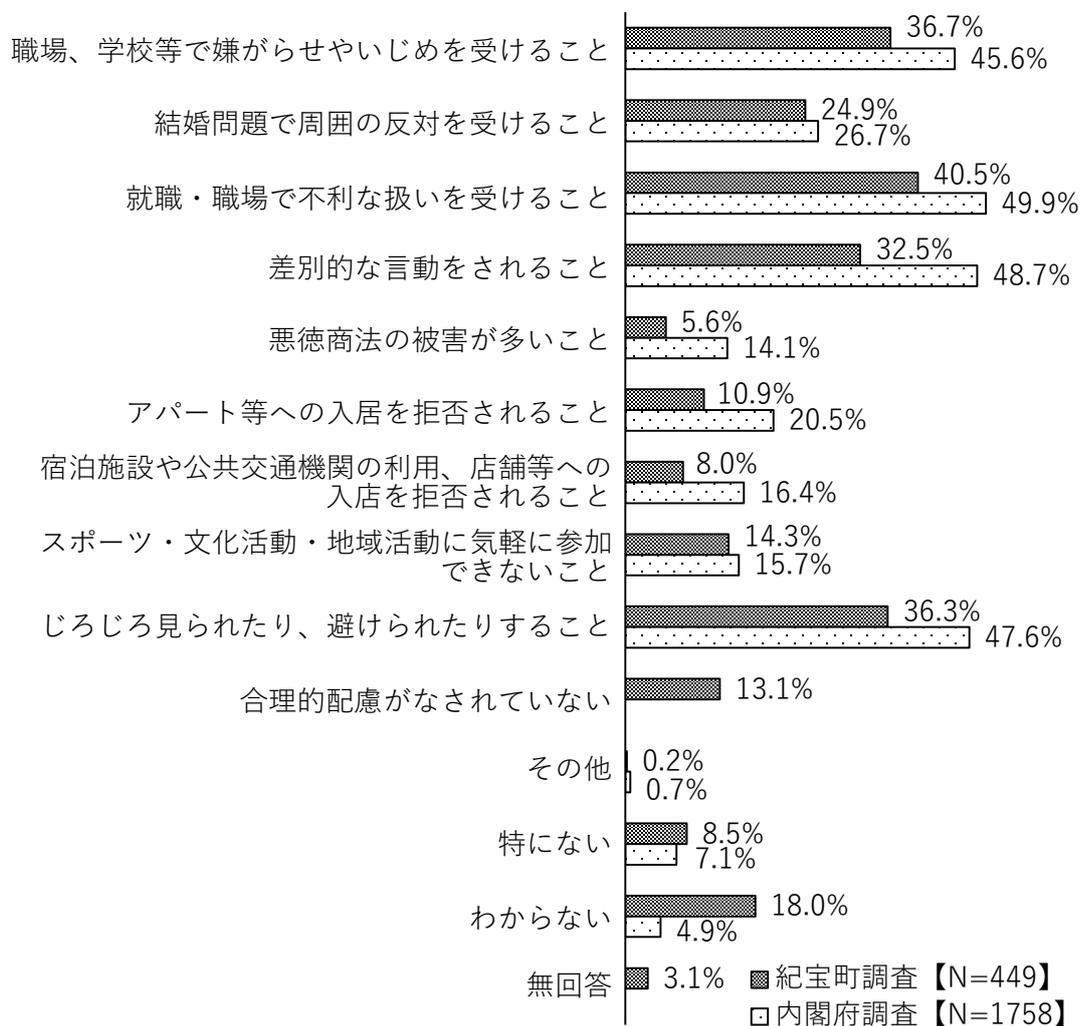
年代別にみると、「家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること」を挙げた人の割合は10・20歳代で、「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」を挙げた人の割合は40歳代以上で、それぞれ高くなっています。また、30歳代では「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」と「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」を挙げた人の割合が同率で高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
働く能力を発揮する機会が少ないこと	22.7	24.1	23.9	27.1	23.0	28.8	16.5	8.1
差別的な言動をされること	8.8	13.8	10.9	11.4	5.4	11.5	4.7	5.4
悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと	54.6	37.9	45.7	61.4	62.2	57.7	58.8	32.4
アパート等への入居を拒否されること	11.5	13.8	15.2	10.0	13.5	16.3	7.1	-
家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	22.5	44.8	43.5	21.4	14.9	24.0	17.6	2.7
病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	32.8	37.9	45.7	40.0	29.7	37.5	25.9	8.1
高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	18.7	34.5	30.4	12.9	12.2	26.9	12.9	5.4
高齢者の意見や行動が尊重されないこと	14.8	13.8	15.2	10.0	13.5	21.2	14.1	10.8
経済的に自立が困難なこと	25.2	31.0	28.3	20.0	28.4	28.8	27.1	5.4
その他	0.7	-	-	1.4	1.4	1.0	-	-
特になし	9.2	3.4	13.0	7.1	5.4	7.7	10.6	21.6
わからない	7.9	13.8	6.5	2.9	6.8	6.7	7.1	21.6
無回答	1.8	3.4	-	-	1.4	-	3.5	8.1

問9 あなたは、障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「就職・職場で不利な扱いを受けること」を挙げた人の割合が40.5%と最も高く、以下、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(36.7%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(36.3%)、「差別的な言動をされること」(32.5%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は8.5%、「わからない」と答えた人の割合は18.0%となっています。

内閣府調査と比べると「就職・職場で不利な扱いを受けること」を挙げた人の割合は9.4ポイント低くなっています。一方、「わからない」と答えた人の割合は13.1ポイント高くなっています。



年代別クロス

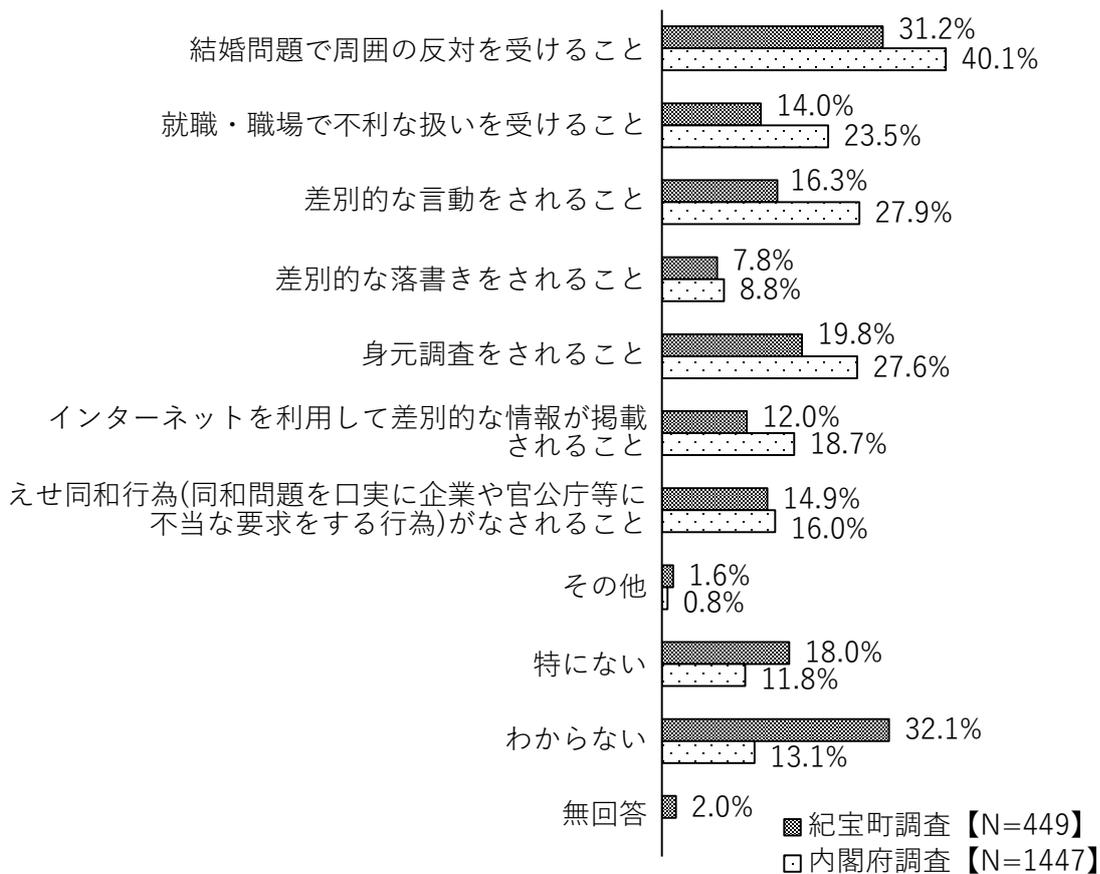
年代別にみると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」を挙げた人の割合は10・20歳代、40歳代で、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」を挙げた人の割合は30歳代で、「就職・職場で不利な扱いを受けること」を挙げた人の割合は50歳代から70歳代で、「わからない」と答えた人の割合は80歳以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	36.9	48.3	65.2	44.3	24.3	38.5	25.9	24.3
結婚問題で周囲の反対を受けること	24.9	37.9	28.3	30.0	17.6	29.8	18.8	16.2
就職・職場で不利な扱いを受けること	40.4	44.8	54.3	45.7	32.4	50.0	34.1	13.5
差別的な言動をされること	32.4	48.3	58.7	35.7	28.4	39.4	15.3	8.1
悪徳商法の被害が多いこと	5.4	6.9	6.5	4.3	5.4	6.7	4.7	2.7
アパート等への入居を拒否されること	10.8	17.2	8.7	12.9	12.2	12.5	9.4	-
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	8.1	10.3	13.0	12.9	8.1	8.7	3.5	-
スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	14.4	31.0	21.7	15.7	10.8	14.4	10.6	5.4
じろじろ見られたり、避けられたりすること	36.2	62.1	56.5	52.9	31.1	34.6	20.0	10.8
合理的配慮がなされていない	13.3	6.9	26.1	15.7	16.2	12.5	10.6	-
その他	0.2	-	-	-	-	1.0	-	-
特になし	8.3	3.4	8.7	4.3	5.4	6.7	12.9	18.9
わからない	18.2	20.7	6.5	12.9	27.0	16.3	15.3	35.1
無回答	2.9	-	-	-	4.1	1.9	5.9	8.1

問10 あなたは、同和問題(部落差別)に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「結婚問題で周囲の反対を受けること」を挙げた人の割合が31.2%と高く、以下、「身元調査をされること」(19.8%)、「差別的な言動をされること」(16.3%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合が32.1%と最も高く、「特にない」と答えた人の割合は18.0%となっています。

内閣府調査と比べると「差別的な言動をされること」を挙げた人の割合は11.6ポイント低くなっています。一方、「わからない」と答えた人の割合は19ポイント高くなっています。



年代別クロス

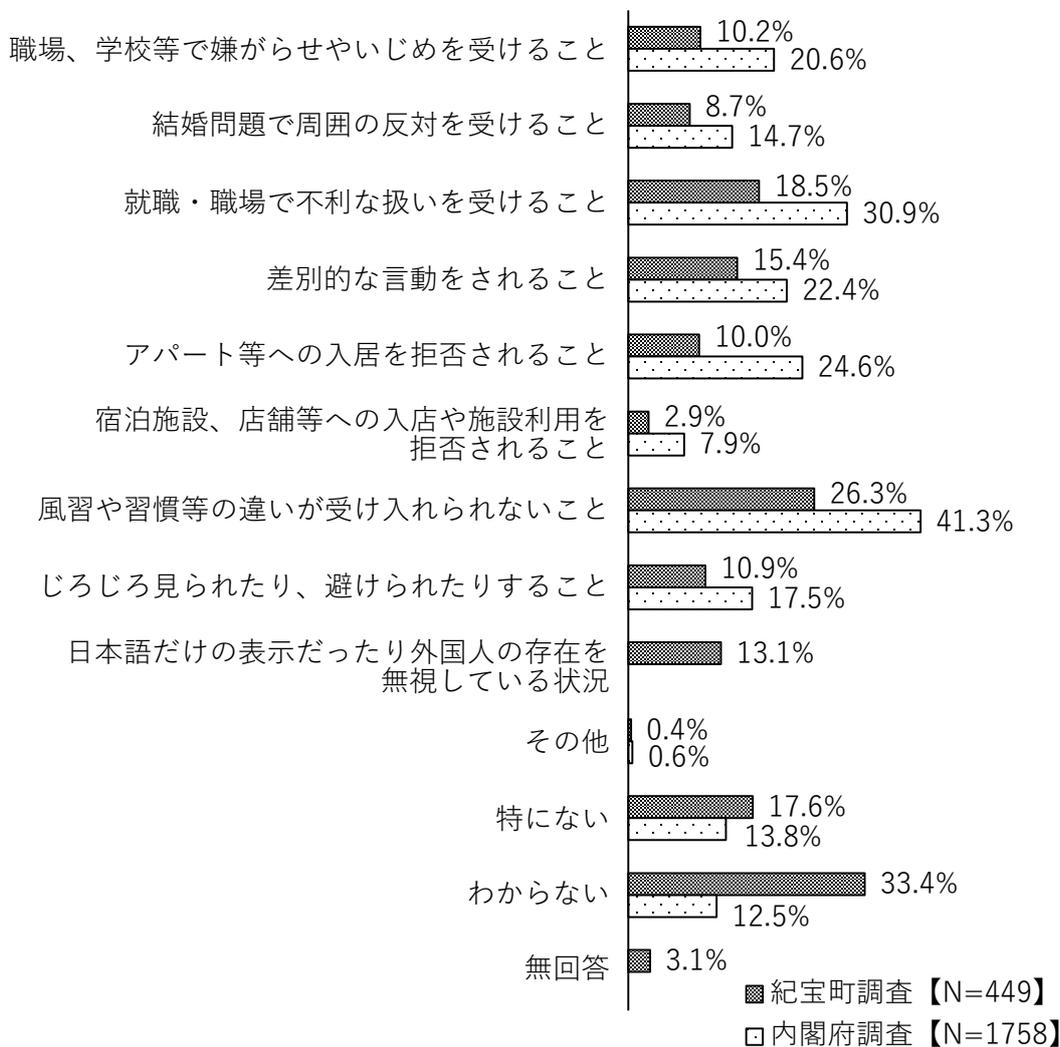
年代別にみると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」を挙げた人の割合は40歳代から60歳代で高くなっています。また、30歳代では「就職・職場で不利な扱いを受けること」と「差別的な言動をされること」を挙げた人の割合は同率で高くなっています。「わからない」と答えた人の割合は10・20歳代、70歳代以上で高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
結婚問題で周囲の反対を受けること	31.5	34.5	32.6	40.0	36.5	34.6	22.4	13.5
就職・職場で不利な扱いを受けること	14.2	24.1	39.1	18.6	8.1	17.3	-	2.7
差別的な言動をされること	16.4	31.0	39.1	17.1	16.2	16.3	4.7	2.7
差別的な落書きをされること	7.9	17.2	17.4	10.0	10.8	6.7	-	-
身元調査をされること	19.8	20.7	30.4	22.9	23.0	24.0	10.6	2.7
インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	11.9	17.2	23.9	11.4	14.9	13.5	4.7	-
えせ同和行為(同和問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)がなされること	14.8	10.3	19.6	12.9	23.0	19.2	9.4	-
その他	1.6	-	-	2.9	2.7	1.9	1.2	-
特にない	18.0	10.3	10.9	12.9	8.1	23.1	24.7	32.4
わからない	32.1	37.9	30.4	30.0	35.1	18.3	41.2	45.9
無回答	1.8	-	-	-	2.7	2.9	1.2	5.4

問11 あなたは、居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」を挙げた人の割合が26.3%と高く、以下、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(18.5%)、「差別的な言動をされること」(15.4%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合が33.4%と最も高く、「特にない」と答えた人の割合は17.6%となっています。

内閣府調査と比べると「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」と答えた人の割合は15ポイント低くなっています。一方、「わからない」と答えた人の割合は20.9ポイント高くなっています。



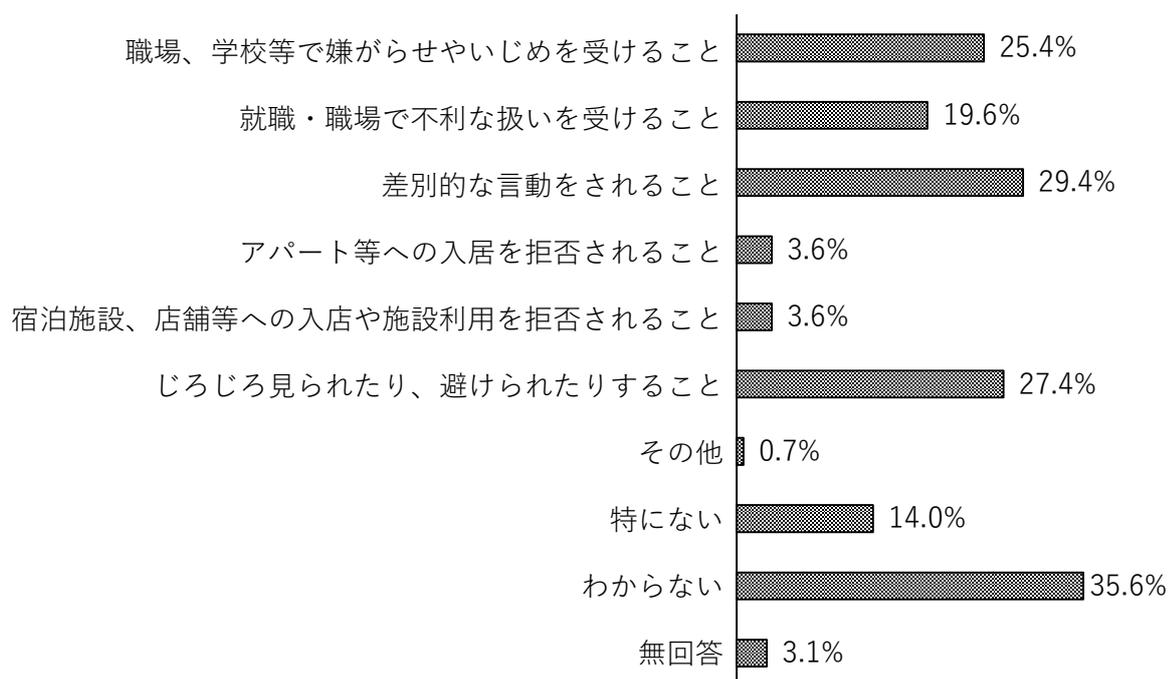
年代別クロス

年代別にみると、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」を挙げた人の割合は10・20歳代、30歳代、60歳代で、それぞれ高くなっています。「わからない」と答えた人の割合は40歳代から50歳代、70歳代以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	10.3	13.8	21.7	14.3	12.2	8.7	4.7	-
結婚問題で周囲の反対を受けること	8.8	10.3	10.9	11.4	10.8	10.6	2.4	5.4
就職・職場で不利な扱いを受けること	18.7	34.5	28.3	22.9	20.3	17.3	11.8	2.7
差別的な言動をされること	15.5	24.1	34.8	15.7	16.2	17.3	4.7	2.7
アパート等への入居を拒否されること	10.1	10.3	21.7	17.1	5.4	10.6	5.9	-
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	2.9	3.4	10.9	4.3	-	1.9	2.4	-
風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	26.3	37.9	45.7	28.6	33.8	26.9	14.1	-
じろじろ見られたり、避けられたりする	11.0	20.7	23.9	12.9	13.5	8.7	3.5	2.7
日本語だけの表示だったり外国人の存在を無視している状況	13.0	24.1	17.4	7.1	12.2	17.3	11.8	2.7
その他	0.4	-	-	-	-	1.0	-	2.7
特になし	17.5	-	15.2	15.7	9.5	22.1	22.4	29.7
わからない	33.5	34.5	17.4	34.3	36.5	25.0	42.4	48.6
無回答	2.9	-	-	-	2.7	3.8	4.7	8.1

問12 あなたは、LGBTQ(性的マイノリティ)の人などに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【N=449】

LGBTQ(性的マイノリティ)の人などに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「差別的な言動をされること」を挙げた人の割合が29.4%と高く、以下、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(27.4%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(25.4%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(19.6%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合が35.6%と最も高く、「特にない」と答えた人の割合は14.0%となっています。



性別クロス

性別にみると、「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること」、「その他」を挙げた人の割合は男性で高くなっていますが、それ以外の項目を挙げた人の割合は女性で高くなっています。また、その他では「わからない」と答えた人の割合が100%となっています。

	合計	男性	女性	その他
全体	434	179	254	1
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	26.0	25.7	26.4	-
就職・職場で不利な扱いを受けること	19.8	19.6	20.1	-
差別的な言動をされること	30.0	29.6	30.3	-
アパート等への入居を拒否されること	3.7	2.8	4.3	-
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	3.7	3.9	3.5	-
じろじろ見られたり、避けられたりする	28.1	27.4	28.7	-
その他	0.7	1.1	0.4	-
特になし	14.1	15.6	13.0	-
わからない	35.7	33.0	37.4	100.0
無回答	2.5	2.8	2.4	-

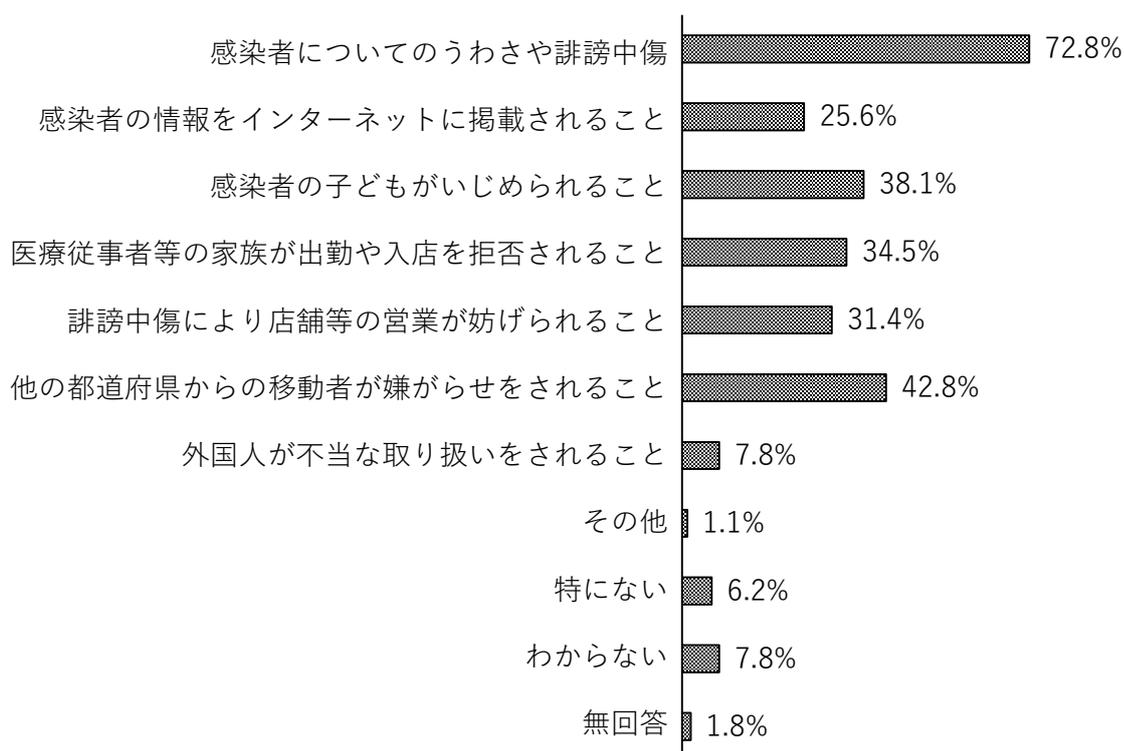
年代別クロス

年代別にみると、「差別的な言動をされること」を挙げた人の割合は30歳代、60歳代で、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」を挙げた人の割合は40歳代で、「わからない」と答えた人の割合は70歳代以上で、それぞれ高くなっています。また、10・20歳代では「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」と「じろじろ見られたり、避けられたりすること」を挙げた人の割合が、50歳代では「じろじろ見られたり、避けられたりすること」と「わからない」を挙げた人の割合が、それぞれ同率で高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	25.6	48.3	45.7	37.1	21.6	27.9	7.1	5.4
就職・職場で不利な扱いを受けること	19.8	34.5	28.3	24.3	21.6	21.2	9.4	5.4
差別的な言動をされること	29.7	44.8	58.7	31.4	32.4	31.7	15.3	-
アパート等への入居を拒否されること	3.6	3.4	10.9	7.1	2.7	1.0	2.4	-
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	3.6	3.4	8.7	7.1	2.7	1.0	3.5	-
じろじろ見られたり、避けられたりすること	27.6	48.3	41.3	42.9	35.1	22.1	11.8	2.7
その他	0.7	-	-	-	1.4	1.9	-	-
特になし	13.9	6.9	13.0	5.7	6.8	18.3	18.8	27.0
わからない	35.7	31.0	21.7	27.1	35.1	30.8	52.9	48.6
無回答	2.7	-	-	-	1.4	2.9	3.5	13.5

問13 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関連して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【N=449】

新型コロナウイルス感染症に関連して、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「感染者についてのうわさや誹謗中傷」を挙げた人の割合が72.8%と突出して高く、以下、「他の都道府県からの移動者が嫌がらせをされること」(42.8%)、「感染人の子どもがいじめられること」(38.1%)、「医療従事者等の家族が出勤や入店を拒否されること」(34.5%)、「誹謗中傷により店舗等の営業が妨げられること」(31.4%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は6.2%、「わからない」と答えた人の割合は7.8%となっています。



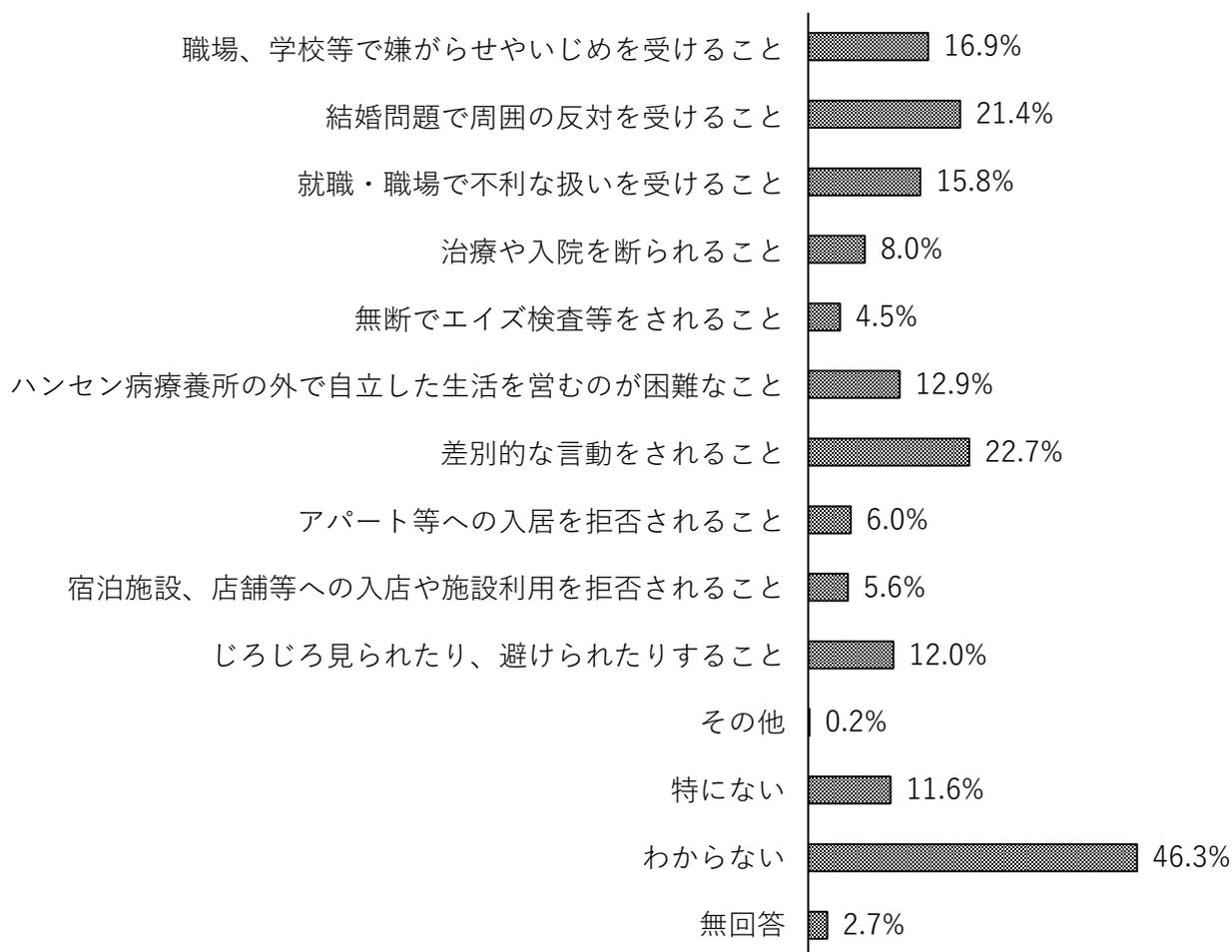
年代別クロス

年代別にみると、「感染者についてのうわさや誹謗中傷」を挙げた人の割合は10・20歳代から70歳代で最も高くなっています。「わからない」と答えた人の割合は80歳以上で高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
感染者についてのうわさや誹謗中傷	73.3	96.6	87.0	88.6	79.7	76.0	58.8	21.6
感染者の情報をインターネットに掲載されること	25.6	55.2	43.5	37.1	27.0	22.1	9.4	2.7
感染者の子どもがいじめられること	38.2	58.6	60.9	54.3	31.1	34.6	27.1	13.5
医療従事者等の家族が出勤や入店を拒否されること	34.4	48.3	47.8	41.4	31.1	36.5	25.9	13.5
誹謗中傷により店舗等の営業が妨げられること	31.5	65.5	41.3	41.4	32.4	27.9	21.2	5.4
他の都道府県からの移動者が嫌がらせをされること	42.9	55.2	54.3	54.3	37.8	49.0	30.6	18.9
外国人が不当な取り扱いをされること	7.9	27.6	19.6	5.7	9.5	3.8	3.5	-
その他	1.1	-	-	4.3	1.4	1.0	-	-
特になし	6.3	-	4.3	2.9	1.4	3.8	11.8	24.3
わからない	7.6	3.4	-	-	5.4	2.9	15.3	35.1
無回答	1.6	-	-	-	1.4	1.9	1.2	8.1

問14 あなたは、エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者・回復者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【N=449】

エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者・回復者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「差別的な言動をされること」を挙げた人の割合が22.7%と高く、以下、「結婚問題で周囲の反対を受けること」(21.4%)、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」(16.9%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(15.8%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合が46.3%と最も高く、「特にない」と答えた人の割合は11.6%となっています。



年代別クロス

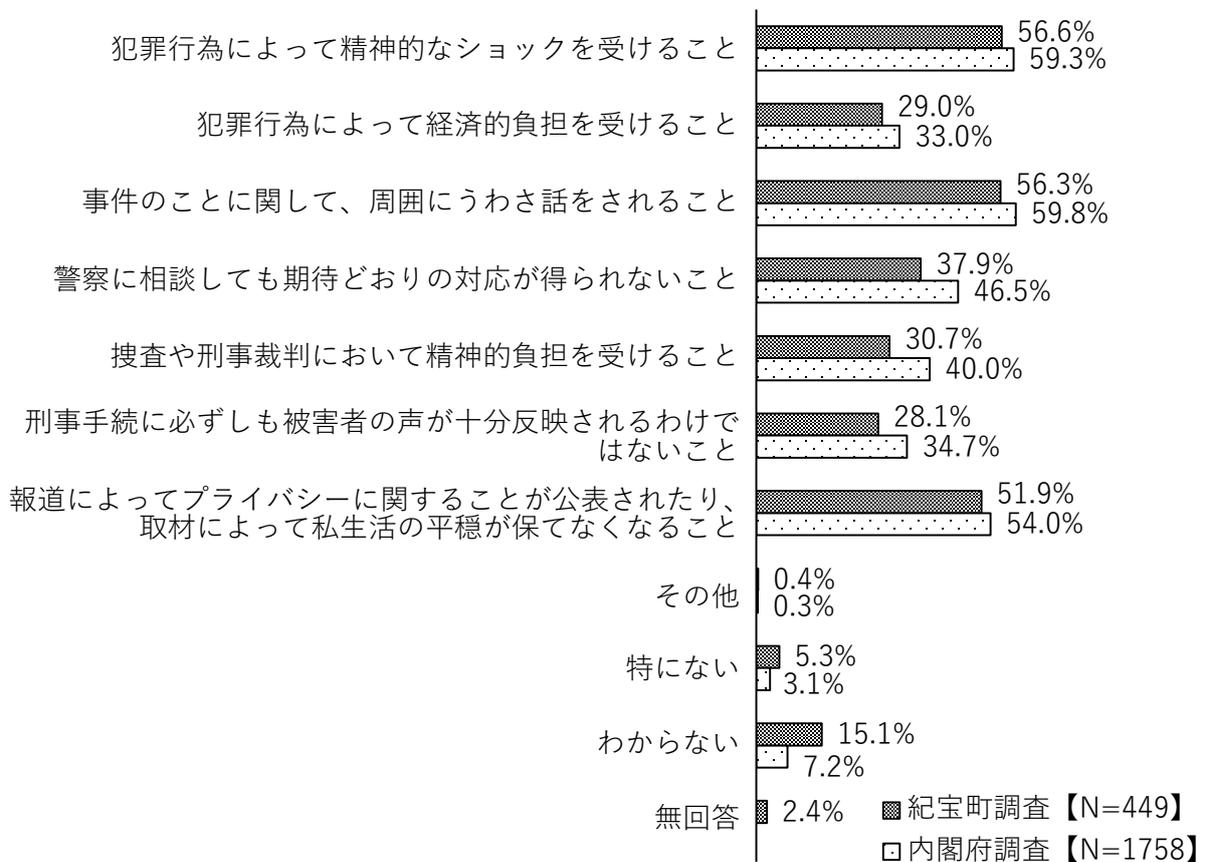
年代別にみると、60歳代では「差別的な言動をされること」と「わからない」を挙げた人の割合は同率で高くなっていますが、その他の年代はいずれも「わからない」と答えた人の割合が高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	17.1	20.7	34.8	22.9	17.6	20.2	3.5	2.7
結婚問題で周囲の反対を受けること	21.6	27.6	26.1	22.9	27.0	28.8	10.6	2.7
就職・職場で不利な扱いを受けること	15.7	24.1	21.7	14.3	20.3	23.1	3.5	2.7
治療や入院を断られること	8.1	6.9	10.9	10.0	12.2	10.6	2.4	-
無断でエイズ検査等をされること	4.3	6.9	8.7	4.3	4.1	3.8	3.5	-
ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと	13.0	17.2	15.2	10.0	17.6	15.4	10.6	2.7
差別的な言動をされること	22.7	24.1	34.8	25.7	24.3	29.8	11.8	2.7
アパート等への入居を拒否されること	6.1	-	6.5	7.1	6.8	8.7	5.9	-
宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	5.6	-	19.6	7.1	2.7	6.7	2.4	-
じろじろ見られたり、避けられたりする こと	12.1	20.7	19.6	11.4	10.8	19.2	3.5	-
その他	0.2	-	-	-	-	1.0	-	-
特になし	11.7	3.4	8.7	4.3	5.4	14.4	17.6	27.0
わからない	46.3	62.1	45.7	51.4	47.3	29.8	51.8	56.8
無回答	2.5	-	-	-	1.4	2.9	3.5	10.8

問15 あなたは、犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」を挙げた人の割合が56.6%、次いで僅差で「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」を挙げた人の割合が56.3%と高くなっています。以下、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穩が保てなくなること」(51.9%)、「警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと」(37.9%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合は15.1%、「特にない」と答えた人の割合は5.3%となっています。

内閣府調査と比べると「わからない」と答えた人の割合は7.9ポイント高くなっています。



年代別クロス

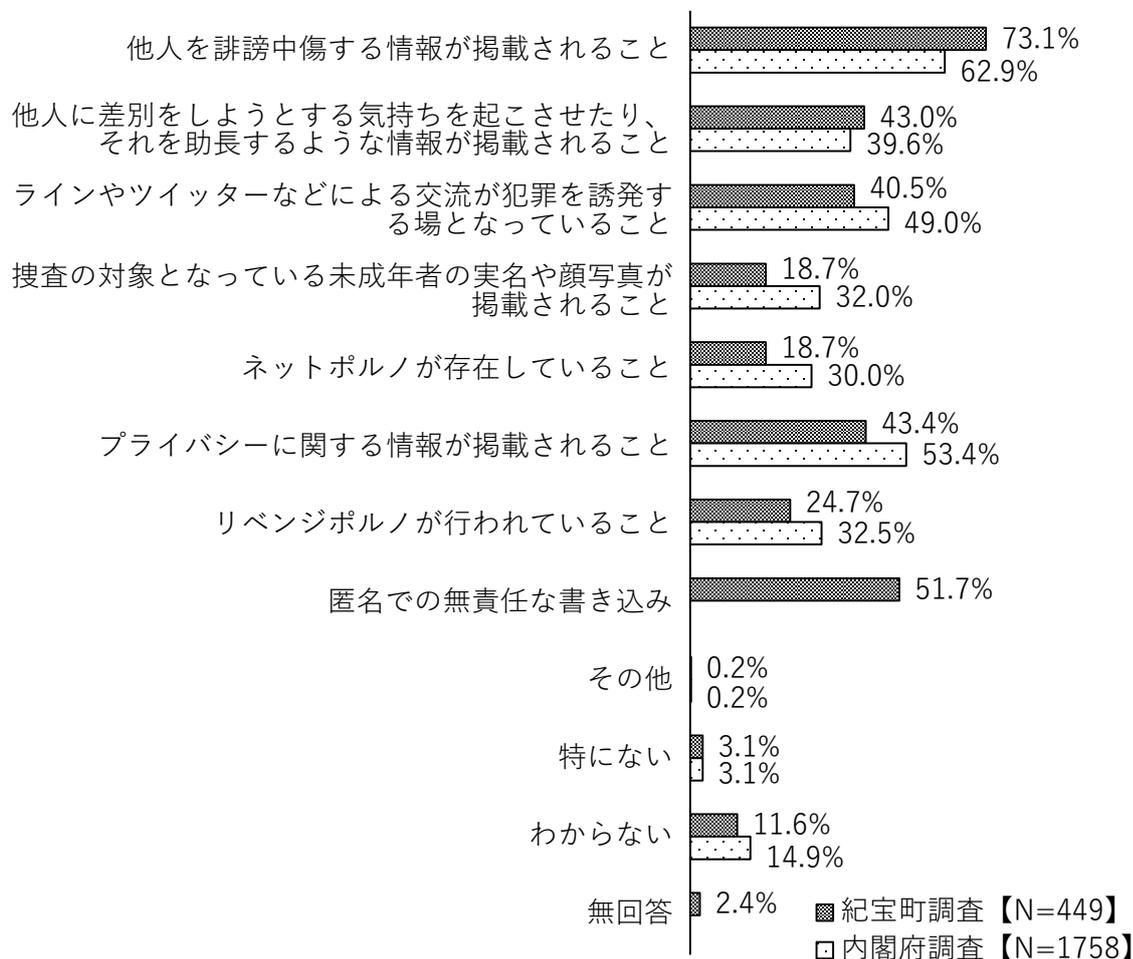
年代別にみると、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」を挙げた人の割合は10・20歳代、60歳代から70歳代で、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」を挙げた人の割合は40歳代から50歳代で、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなることを挙げた人の割合は30歳代で、「わからない」と答えた人の割合は80歳以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
犯罪行為によって精神的なショックを受けること	56.6	65.5	65.2	68.6	66.2	57.7	44.7	21.6
犯罪行為によって経済的負担を受けること	28.8	34.5	30.4	35.7	33.8	26.9	24.7	13.5
事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	56.4	75.9	60.9	65.7	64.9	59.6	48.2	10.8
警察に相談しても期待どおりの対応が得られないこと	38.0	51.7	56.5	50.0	37.8	35.6	30.6	5.4
捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	30.8	37.9	45.7	37.1	41.9	28.8	20.0	2.7
刑事手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	27.9	31.0	34.8	37.1	29.7	29.8	21.2	5.4
報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	51.7	62.1	69.6	62.9	51.4	51.0	45.9	16.2
その他	0.4	-	2.2	-	-	1.0	-	-
特になし	5.4	3.4	2.2	2.9	4.1	4.8	9.4	10.8
わからない	15.3	6.9	8.7	14.3	12.2	12.5	16.5	43.2
無回答	2.2	3.4	-	-	1.4	1.0	1.2	16.2

問16 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。

インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思うか聞いたところ、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」を挙げた人の割合が73.1%と最も高く、以下、「匿名での無責任な書き込み」(51.7%)、「プライバシーに関する情報が掲載されること」(43.4%)、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」(43.0%)、「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」(40.5%)などの順となっています。なお、「わからない」と答えた人の割合は11.6%、「特にない」と答えた人の割合は3.1%となっています。

内閣府調査と比べると「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」を挙げた人の割合は10.2ポイント高くなっています。



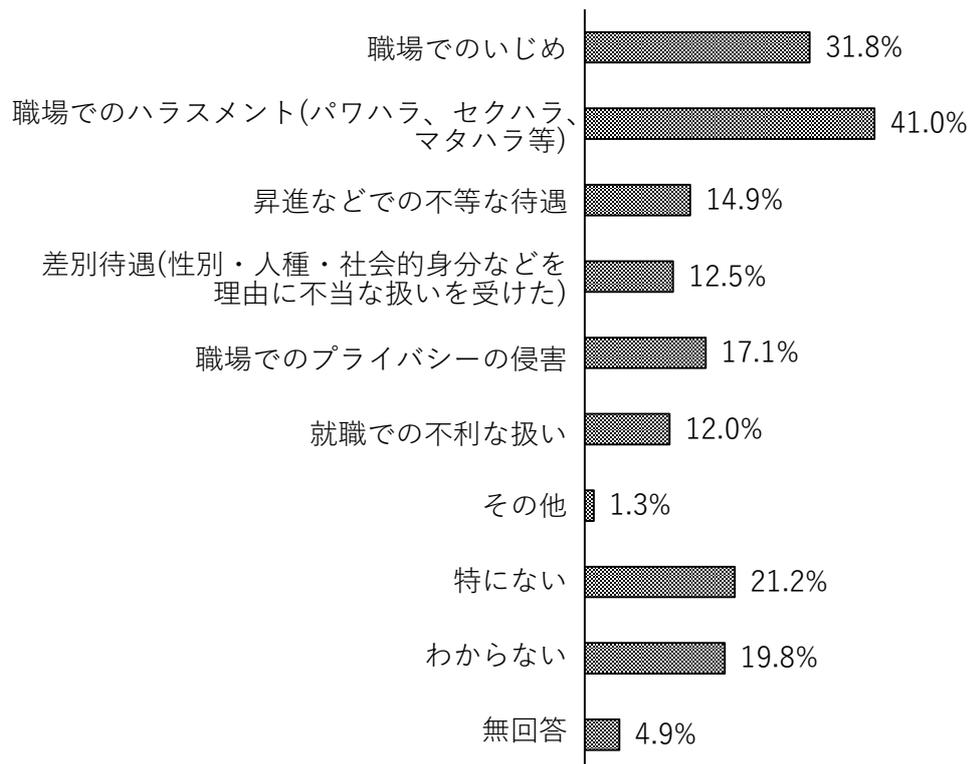
年代別クロス

年代別にみると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」を挙げた人の割合は10・20歳代から70歳代で高くなっています。特に、10・20歳代では93.1%と高くなっています。「わからない」と答えた人の割合は80歳以上で高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	73.3	93.1	71.7	85.7	85.1	72.1	69.4	24.3
他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	42.9	48.3	60.9	48.6	52.7	47.1	29.4	5.4
ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること	40.7	48.3	45.7	44.3	39.2	43.3	43.5	10.8
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	18.7	34.5	23.9	25.7	21.6	18.3	10.6	-
ネットポルノが存在していること	18.7	27.6	26.1	21.4	23.0	18.3	12.9	2.7
プライバシーに関する情報が掲載されること	43.4	55.2	63.0	57.1	43.2	42.3	34.1	8.1
リベンジポルノ(元交際相手などの性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為)が行われていること	24.7	37.9	32.6	34.3	25.7	25.0	17.6	-
匿名での無責任な書き込み	51.7	65.5	63.0	55.7	62.2	51.0	45.9	13.5
その他	0.2	-	-	-	-	1.0	-	-
特になし	3.1	-	2.2	1.4	4.1	1.0	4.7	10.8
わからない	11.5	-	6.5	5.7	5.4	8.7	16.5	45.9
無回答	2.2	3.4	-	-	-	1.0	1.2	18.9

問17 あなたは、職場において、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。【N=449】

職場において、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)」を挙げた人の割合が41.0%と最も高く、以下、「職場でのいじめ」(31.8%)、「職場でのプライバシーの侵害」(17.1%)などの順となっています。なお、「特にない」と答えた人の割合は21.2%、「わからない」と答えた人の割合は19.8%となっています。



性別クロス

性別にみると、「職場でのプライバシーの侵害」、「就職での不利な扱い」、「昇進などでの不平等な待遇」を挙げた人の割合は男性で高く、「職場でのいじめ」、「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)」、「差別待遇(性別・人種・社会的身分などを理由に不当な扱いを受けた)」を挙げた人の割合は女性で高くなっています。

	合計	男性	女性
全体	434	179	254
職場でのいじめ	32.7	29.1	35.4
職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)	41.2	40.2	41.7
昇進などでの不平等な待遇	15.0	15.1	15.0
差別待遇(性別・人種・社会的身分などを理由に不当な扱いを受けた)	12.7	12.3	13.0
職場でのプライバシーの侵害	17.5	20.7	15.4
就職での不利な扱い	12.2	14.0	11.0
その他	1.4	3.4	-
特になし	20.7	27.9	15.7
わからない	19.8	15.6	22.8
無回答	4.8	6.7	3.5

年代別クロス

年代別にみると、10・20歳代から60歳代では「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)」を挙げた人の割合が高く、「わからない」と答えた人の割合は70歳代以上で高くなっています。

	合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
職場でのいじめ	32.1	37.9	50.0	30.0	36.5	32.7	24.7	16.2
職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)	40.9	55.2	60.9	41.4	43.2	47.1	28.2	10.8
昇進などでの不平等な待遇	15.1	13.8	23.9	20.0	16.2	16.3	9.4	2.7
差別待遇(性別・人種・社会的身分などを理由に不当な扱いを受けた)	12.4	17.2	28.3	5.7	13.5	13.5	10.6	-
職場でのプライバシーの侵害	17.3	24.1	23.9	20.0	16.2	21.2	10.6	5.4
就職での不利な扱い	11.9	20.7	26.1	8.6	10.8	15.4	5.9	-
その他	1.3	-	4.3	-	-	3.8	-	-
特になし	21.3	13.8	17.4	22.9	28.4	26.9	16.5	10.8
わからない	19.8	17.2	8.7	15.7	12.2	11.5	36.5	43.2
無回答	4.7	6.9	2.2	-	-	1.9	5.9	29.7

職業別クロス

職業別にみると、「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)」を挙げた人の割合は製造業、商業、サービス業、公務員、家事、その他で、それぞれ高くなっています。学生では「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)」と「差別待遇(性別・人種・社会的身分などを理由に不当な扱いを受けた)」を挙げた人の割合が同率で高くなっています。農林業、運輸・通信業、建設業では「特にない」と答えた人の割合が、「無職」では「わからない」と答えた人の割合が、それぞれ高くなっています。

	合計	農林業 (専業)	製造業	建設業	商業(小 売、卸 売、飲 食)	運輸・ 通信業	サービ ス業(公 務を除 く)	公務員 (公社を 含む)	家事	学生	無職	その他
全体	444	11	40	18	20	3	57	36	52	4	118	85
職場でのいじめ	32.2	27.3	35.0	27.8	35.0	-	31.6	52.8	28.8	50.0	29.7	29.4
職場でのハラスメント(パワハラ、 セクハラ、マタハラ等)	41.2	18.2	45.0	44.4	55.0	-	42.1	55.6	36.5	75.0	34.7	43.5
昇進などでの不平等な待遇	15.1	18.2	17.5	16.7	35.0	-	17.5	16.7	5.8	25.0	11.0	17.6
差別待遇(性別・人種・社会的身分 などを理由に不当な扱いを受けた)	12.2	18.2	7.5	11.1	20.0	-	12.3	25.0	13.5	75.0	8.5	8.2
職場でのプライバシーの侵害	17.3	9.1	10.0	11.1	10.0	-	17.5	36.1	13.5	50.0	17.8	17.6
就職での不利な扱い	11.9	27.3	10.0	11.1	20.0	-	7.0	19.4	13.5	50.0	9.3	10.6
その他	1.4	-	2.5	5.6	-	-	1.8	-	-	-	1.7	1.2
特にない	20.9	36.4	30.0	50.0	25.0	66.7	28.1	22.2	11.5	-	10.2	22.4
わからない	19.8	27.3	7.5	5.6	5.0	33.3	10.5	8.3	30.8	25.0	35.6	12.9
無回答	5.0	-	5.0	-	-	-	-	-	7.7	-	9.3	5.9

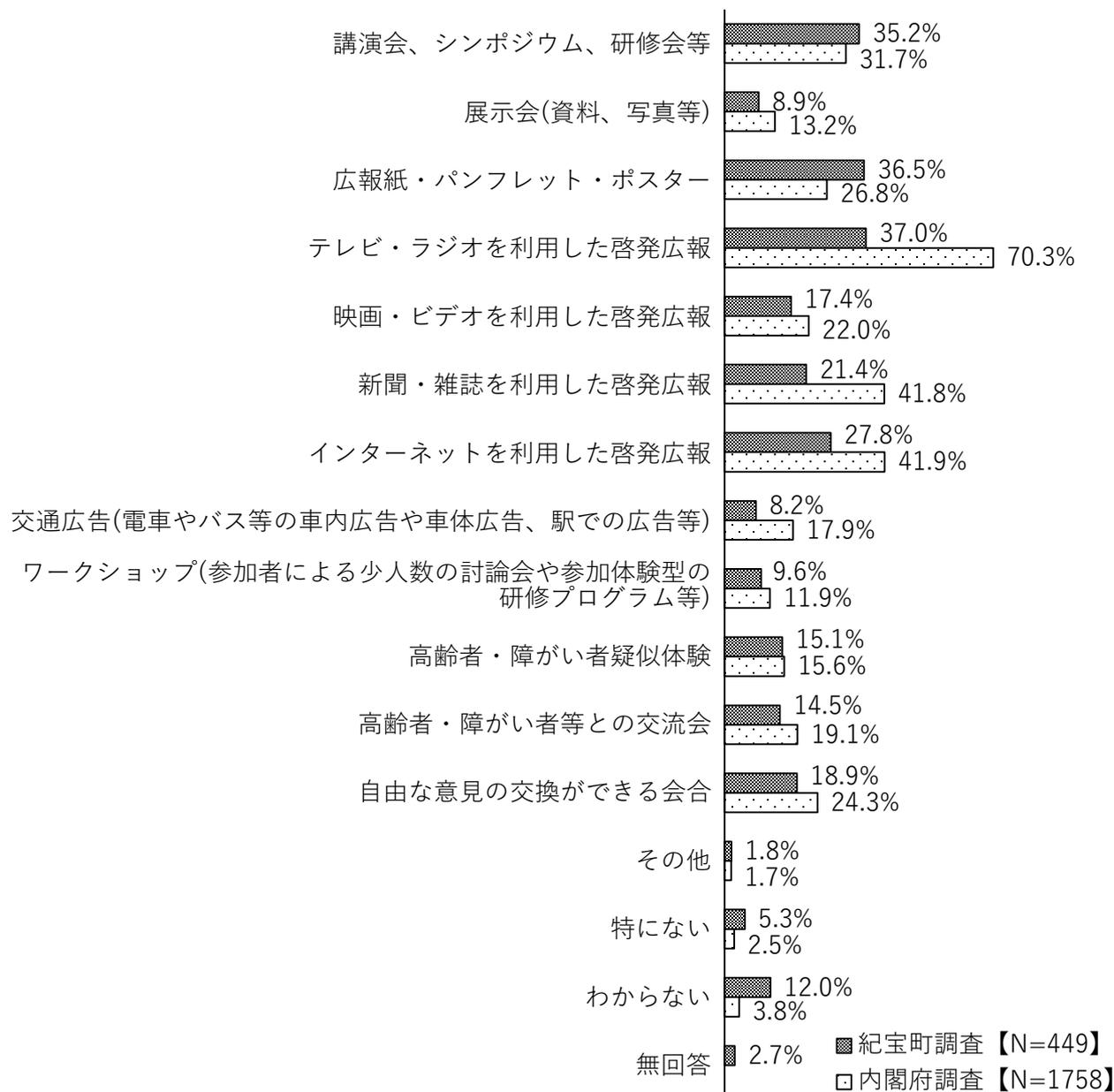
3 人権課題の解決のための方策について

人権課題を解決するため、国・県・町などが連携しながら取り組んでいくべきことについてお答えください。

問18 あなたは、人権啓発を推進するためには、住民に対してどのような方法による啓発広報活動が効果的だと思いますか。

人権啓発を推進するためには、住民に対してどのような方法による啓発広報活動が効果的であると思うか聞いたところ、「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」を挙げた人の割合が37.0%と最も高く、以下、「広報紙・パンフレット・ポスター」(36.5%)、「講演会、シンポジウム、研修会等」(35.2%)、「インターネットを利用した啓発広報」(27.8%)、「新聞・雑誌を利用した啓発広報」(21.4%)などの順となっています。

内閣府調査と比べると「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」を挙げた人の割合は33.3ポイント低く、「広報紙・パンフレット・ポスター」を挙げた人の割合は9.7ポイント高くなっています。



年代別クロス

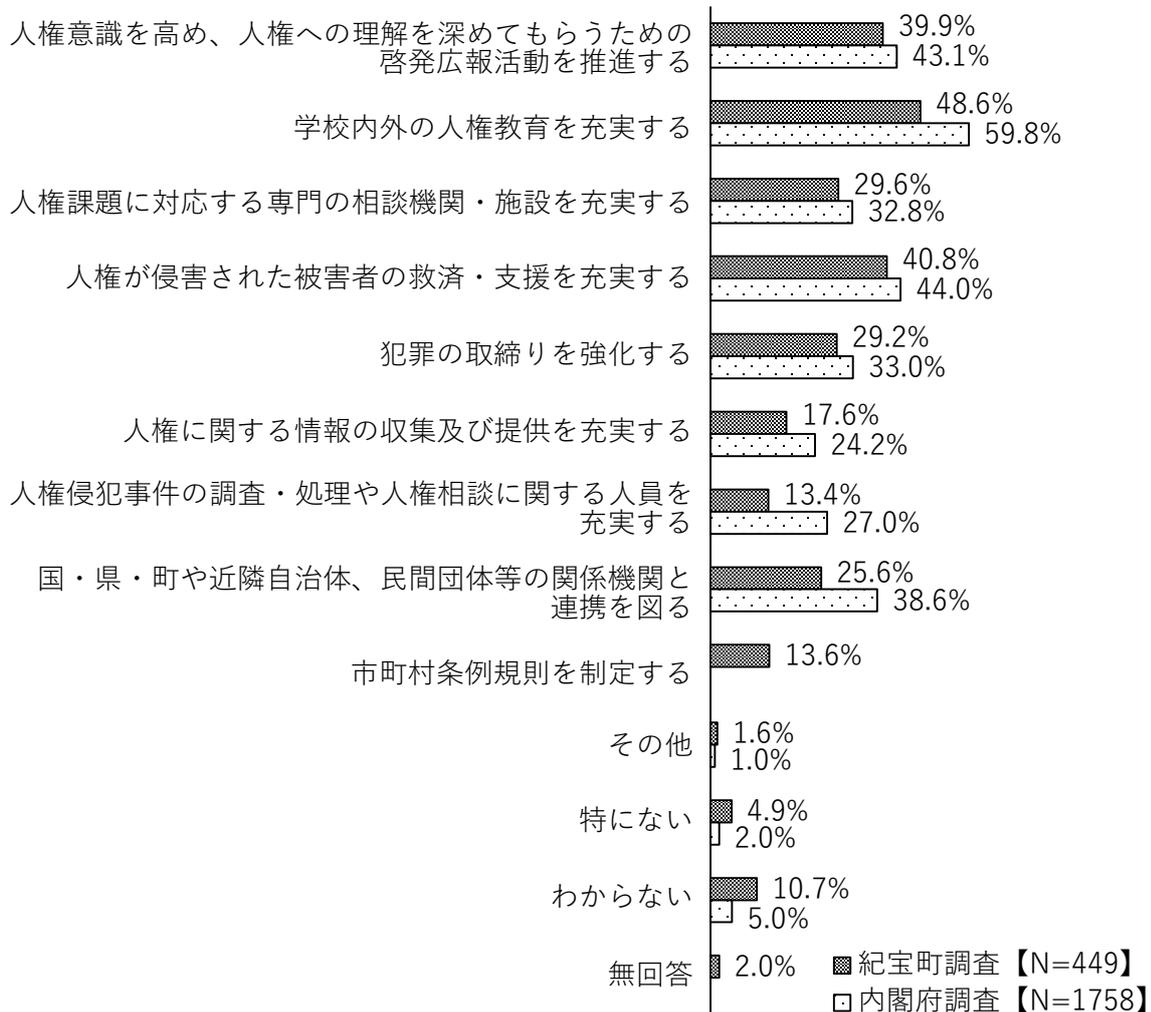
年代別にみると、「インターネットを利用した啓発広報」を挙げた人の割合は10・20歳代から30歳代で、「広報紙・パンフレット・ポスター」を挙げた人の割合は40歳代、60歳代で、「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」を挙げた人の割合は50歳代で、「講演会、シンポジウム、研修会等」を挙げた人の割合は70歳代以上で、それぞれ高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
講演会、シンポジウム、研修会等	35.5	17.2	43.5	34.3	33.8	37.5	41.2	27.0
展示会(資料、写真等)	9.0	6.9	15.2	10.0	6.8	10.6	7.1	5.4
広報紙・パンフレット・ポスター	36.4	31.0	39.1	41.4	31.1	46.2	32.9	18.9
テレビ・ラジオを利用した啓発広報	37.1	41.4	37.0	38.6	40.5	40.4	32.9	24.3
映画・ビデオを利用した啓発広報	17.5	17.2	23.9	21.4	21.6	17.3	10.6	10.8
新聞・雑誌を利用した啓発広報	21.3	13.8	21.7	21.4	17.6	29.8	17.6	18.9
インターネットを利用した啓発広報	27.9	55.2	45.7	30.0	39.2	22.1	15.3	2.7
交通広告(電車やバス等の車内広告 や車体広告、駅での広告等)	8.3	17.2	10.9	12.9	6.8	8.7	4.7	-
ワークショップ(参加者による少人数 の討論会や参加体験型の研修プロ グラム等)	9.7	13.8	8.7	10.0	13.5	11.5	7.1	-
高齢者・障がい者疑似体験	15.1	17.2	23.9	15.7	14.9	17.3	10.6	5.4
高齢者・障がい者等との交流会	14.4	17.2	17.4	17.1	16.2	15.4	10.6	5.4
自由な意見の交換ができる会合	19.1	13.8	17.4	17.1	14.9	18.3	28.2	18.9
その他	1.8	-	4.3	4.3	-	1.9	-	2.7
特になし	5.4	6.9	4.3	-	2.7	7.7	7.1	10.8
わからない	11.9	13.8	8.7	17.1	16.2	4.8	11.8	16.2
無回答	2.5	3.4	-	-	-	1.9	2.4	16.2

問19 あなたは、国・県・町は、人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。

国・県・町は、人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思うか聞いたところ、「学校内外の人権教育を充実する」を挙げた人の割合が48.6%と最も高く、以下、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(40.8%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(39.9%)、「人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する」(29.6%)、「犯罪の取締りを強化する」(29.2%)などの順となっています。

内閣府調査と比べると「学校内外の人権教育を充実する」を挙げた人の割合は11.2ポイント低くなっています。



年代別クロス

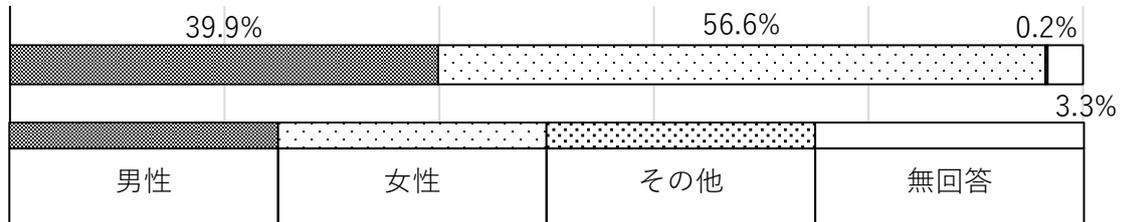
年代別にみると、「学校内外の人権教育を充実する」を挙げた人の割合は10・20歳代から40歳代、60歳代、80歳以上で、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」を挙げた人の割合は70歳代で、それぞれ高くなっています。また、50歳代では「学校内外の人権教育を充実する」と「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」を挙げた人の割合が同率で高くなっています。

	合計	10・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
全体	445	29	46	70	74	104	85	37
人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する	40.0	24.1	45.7	34.3	32.4	44.2	51.8	32.4
学校内外の人権教育を充実する	48.8	58.6	54.3	55.7	44.6	51.0	43.5	35.1
人権課題に対応する専門の相談機関・施設を充実する	29.7	31.0	34.8	25.7	37.8	27.9	27.1	24.3
人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	40.7	44.8	45.7	38.6	44.6	47.1	35.3	21.6
犯罪の取締りを強化する	29.2	31.0	37.0	25.7	32.4	36.5	24.7	8.1
人権に関する情報の収集及び提供を充実する	17.5	17.2	26.1	11.4	12.2	23.1	20.0	8.1
人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員を充実する	13.5	10.3	21.7	11.4	17.6	14.4	12.9	-
国・県・町や近隣自治体、民間団体等の関係機関と連携を図る	25.8	27.6	32.6	21.4	29.7	26.9	28.2	8.1
市町村条例規則を制定する	13.7	3.4	15.2	10.0	17.6	17.3	12.9	10.8
その他	1.6	3.4	6.5	1.4	-	1.9	-	-
特になし	4.9	-	6.5	2.9	4.1	6.7	4.7	8.1
わからない	10.6	10.3	13.0	10.0	14.9	5.8	8.2	18.9
無回答	1.8	3.4	-	-	-	1.0	2.4	10.8

4 あなたご自身のことについて

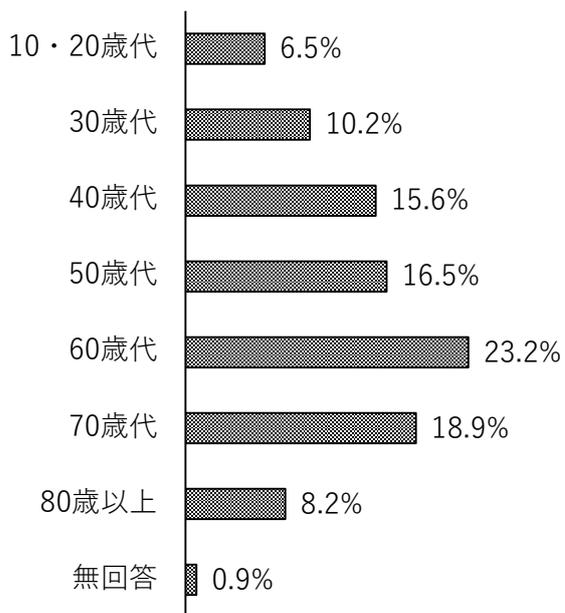
(1)性別【N=449】

性別については、「女性」が56.6%、「男性」が39.9%、「その他」が0.2%となっています。



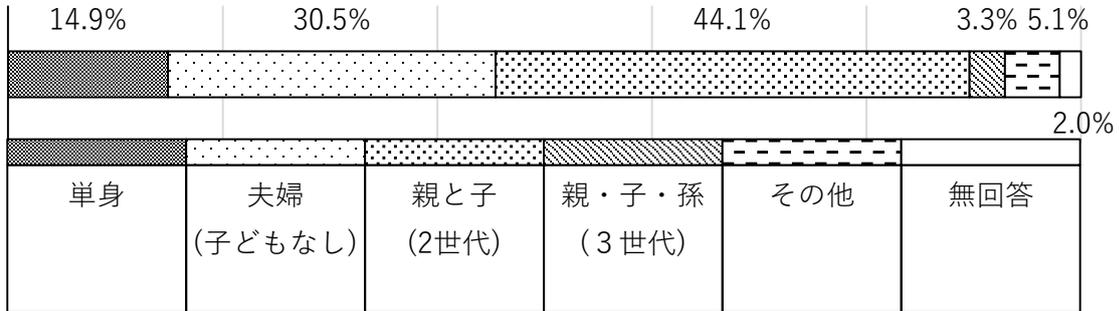
(2)年齢【N=449】

年齢については、「60歳代」が23.2%と最も高く、以下、「70歳代」(18.9%)、「50歳代」(16.5%)、「40歳代」(15.6%)などの順となっています。



(3)世帯構成【N=449】

世帯構成については、「親と子(2世代)」が44.1%と最も高く、以下、「夫婦(子どもなし)」(30.5%)、「単身」(14.9%)、「その他」(5.1%)、「親・子・孫(3世代)」(3.3%)の順となっています。



(4)職業【N=449】

職業については、「無職」が26.3%と最も高く、以下、「その他」(18.9%)、「サービス業」(12.7%)、「家事」(11.6%)などの順となっています。

